科目名	SES100:　基礎ゼミナール			担当教員	平野 幸治，近藤 佐智子， 飯田 純也，森下 園，宮崎 幸江， 杉村 美佳，小林 宏子
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	1 年		

担当教員の連絡情報	担当教員	研究室	オフィスアワー	連絡先
	平野　幸治	4210	水 2・3 限、木 2・3・4 限	
	近藤　佐智子	4208	火・水・木 3 限	
	飯田　純也	4216	木 2・3・4 限	
	森下　園	4202	水 3 限、木 4 限、金 5 限	
	宮崎　幸江	4217	月・火 3 限	
	杉村　美佳	4220	水 3 限、金 2・5 限	
	小林　宏子	4204	火 4 限、木 3 限	

キーワード	導入教育、自立と自律、大学生としての学び、プレゼンテーションの方法、ノートの取り方、進路、小論文の書き方
授業の概要	本学の教育理念である“Women for others, with others”を目指す学生生活への導入となる授業です。大学での学びに必要なアカデミックスキルを身につけ、将来のキャリア形成を視野に入れた大学生活のプランをたてていきます。
達成目標および到達目標	【達成目標】大学での自律した学びに必要なアカデミックスキルが身につきます。具体的には、さまざまな分野の問題を論じるために必要となる専門的な情報や知識をどのように得て、プレゼンテーションや小論文としてどのように発信していくかを実践しながら学びます。 【到達目標】学生同士のディスカッション、プレゼンテーションを中心に日本語での発信力を磨きます。また、同時期に開講される専任教員によるショートレクチャーや教員の小論文を用いて、ノートテイキング技術や要約の仕方、小論文の書き方を実践的に身につけます。
評価方法および評価基準	【評価方法】 課題：5%×8 回＝40%、ショートレクチャーのノートテイキング：2%×4 回＝8%、プレゼンテーション：22%（発表 15%、司会 7%）、小論文作成：30%。 【評価基準】 評価基準は、課題：提出期限・内容と書式の遵守で 5 点、遅れた場合（翌日午後 5 時まで、以後は受け付けない）マイナス 3 点、内容または書式が守られていない場合はマイナス 2 点、ノート：3 つのレクチャーについてきちんとノートをとっている 2 点、そうでない 1 点、プレゼン：内容が整理されていて、聞き手にむけて顔をあげてきちんと話している 15 点、内容・提示資料が整理されていない、顔をあげてきちんと話していない場合は各マイナス 5 点、司会：質問が適切で顔をあげてきちんと話す 7 点、質問が不適切、きちんと話していない場合は各マイナス 2 点、小論文は論点が明確でパラグラフライティングができており、書式・提出期限を守れば 30 点、論点・パラグラフライティングが不完全、書式・提出期限を守っていない場合は各マイナス 10 点となる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ガイダンス ―「他者のために、他者とともに生きる」ために	テキスト 1 章講読、自己紹介、グループディスカッション	本学の三つのポリシーとテキストの学長先生のメッセージを読む
2	自己を知り、自己を確立する ― 自主と自律、履修計画、人間学を学ぶ意義	テキスト 2 章講読、DVD 視聴、グループディスカッション	テキスト 3 章講読、課題①視聴 DVD 内容の要約
3	世界に目を向け、異文化に心を開く ― 多文化共生社会でのボランティア活動への招き	DVD 視聴、グループディスカッション	テキスト 4 章講読、課題②視聴 DVD 内容の要約
4	学ぶ姿勢を見直そう ― 大学での学び、ノートの取り方のこつ、スケジュール管理、インターネット・SNS 利用上の留意点	DVD 視聴、ノートテイキング、グループディスカッション	テキスト 5 章講読、課題③視聴 DVD 内容の要約
5	最初の一歩を踏みだそう ― 質問の仕方、レポート作成時の注意事項、プレゼンの準備	DVD 視聴、グループディスカッション、質疑応答	テキスト 6 章講読、課題④視聴 DVD 内容の要約 400 字
6	文章の構造 ― 要約と文章の中心文	グループワーク、グループディスカッション	テキスト 6 章講読、課題⑤指定トピックについてパラグラフライティング
7	ゼミ選択と進路選択 ― 卒業までの計画、進路決定のために何をするか ＋ プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 7 章講読、ショートレクチャー出席
8	編入への道 ― 編入試験の概要、進学のために何をすべきか ＋ プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 8 章講読、ショートレクチャー出席
9	就職への道 ― 働くとはどういうことか、企業は学生に何を求めているのか ＋ プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 9 章講読、ショートレクチャー出席
10	女性のキャリアとライフコース ― 働く女性の状況、あなたのライフプラン ＋ プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 10 章講読、ショートレクチャー出席
11	キャリア・パスを考える ― なぜ進学／就職するのか、理由を説明する ＋ プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテー書と質疑応答	テキスト 11 章講読、課題⑥視聴 DVD の内容要約
12	将来の夢を実現するためのリサーチ ― 進路別のグループでリサーチプランを作成	グループディスカッション、情報収集の仕方	テキスト 12 章講読、課題⑦新聞記事の要約、小論文のためのリサーチ
13	論点をまとめる ― リサーチしたことをグループでシェア、小論文の骨組みをつくる	グループディスカッション、アウトライン作成	テキスト 13 章講読、小論文のためのリサーチ
14	引用の仕方 ― 先行研究や得た情報を踏まえてメイン／パラグラフを作成	小論文の相互チェック、講評	課題⑧小論文のアウトライン作成
15	小論文の仕上げ	引用・註についての説明、グループワーク	テキスト 15 章講読 小論文作成

テキスト	上智大学短期大学部編『Essentials ― A Guide to Finding the Right Career Path for You』
参考書	小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）
その他特記事項	授業時間外に全専任教員による 90 分のショートレクチャーが 4 回ある。出席して取ったノートを提出すること。日時・場所・担当教員と講義タイトルについては初回授業でお知らせします。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4218	オフィスアワー	月・木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	現代アメリカ文学、Ernest Hemingway、氷山理論、個人の確立、家族、共同体						
授業の概要	アメリカの作家 Ernest Hemingway による文学作品とそれらに関する研究書・論文を読み、アメリカ小説の研究に必要な基礎的な知識を身に付けてゆく。多くを語らない抑制された文章を読み、創造的に主題を読み取ってゆく作業が重要となる。扱われる主題としては、個人の確立、家族関係、友人・恋人との関係、生と死、戦争、伝統とそこからの脱却、社会的マイノリティーとの関係、文明と自然、ジェンダー、身体論等である。授業では学生同士そして教員との意見交換が中心となる。						
達成目標および到達目標	【達成目標】文学作品の登場人物の心理と人間関係を読み取る能力を身に付ける。そしてそれらを家族、共同体、社会、伝統、文明、文化、人種、宗教、科学、歴史等の問題と関連させて考え、論じることが出来るようになる。様々な研究主題を理解し、そこから独自の文学論を形成してゆく。 【到達目標】文学作品とそれらに関する本・論文からメモを取ることから始めて、文学的主題の発見と研究方法の基礎を身に付ける。作品と先行研究の理解とそれらに関する自分の意見を発展させて研究ノートにまとめ、主題を設定し、論文作成に向けた訓練を行う。さらに口頭発表に向けて、資料読解、小論文作成力を身に付ける。						
評価方法および評価基準	【評価方法】授業参加（40%）、研究ノート（30%）、論文及びその発表（30%） 【評価基準】授業参加に関しては事前に資料を読み理解し、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を発表できること。研究ノートでは先行研究に関する充分な理解を示し、それに対する自分独自の意見の記述をする。論文では以上の成果を基に明確で論理的な文学論を書く。論文の発表では、口頭での明確な意見の発表と共に、充分な質疑応答が出来るよう、発表内容に関する補足説明事項やさらに発展的な考えを準備する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Ernest Hemingway 初期短編導入 氷山理論と作品読解に向けて	講義、質疑応答	“The Doctor and the Doctor’s Wife” を読む
2	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 父と母、科学と宗教	意見交換	“The Doctor…,” 研究書・論文を読む
3	作品 “The Doctor and the Doctor’s Wife” 悪、異人種との共存	意見交換	“The Doctor…,” 研究書・論文を読む
4	“Soldier’s Home” 失われた世代、破壊と日常	意見交換	“Soldier’s Home,” 研究書・論文を読む
5	“Soldier’s Home” 虚偽の人生、伝統的共同体	意見交換	“Soldier’s Home,” 研究書・論文を読む
6	“Cat in the Rain” 他者の欲望と自己の欲望、夫婦の危機	意見交換	“Cat in the Rain,” 研究書・論文を読む
7	“Cat in the Rain” 髪を伸ばす、父権制	意見交換	“Cat in the Rain,” 研究書・論文を読む
8	“Indian Camp” 生と死、マイノリティー女性の身体	意見交換	“Indian Camp,” 研究書・論文を読む
9	“Indian Camp” 自然・文明・テクノロジー	意見交換	“Indian Camp,” 研究書・論文を読む
10	“End of Something” 未成熟な恋愛	意見交換	“End of Something,” 研究書・論文を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	“End of Something” ハードボイルド的文体、男性間の連帯と女性	意見交換	“End of Something,” 研究書・論文を読む
12	“Fathers and Sons” 空虚な自己と個人主義	意見交換	“Fathers and Sons,” 研究書・論文を読む
13	“Fathers and Sons” 空虚な自己と個人主義、構成された自己と共同体	意見交換	“Fathers and Sons,” 研究書・論文を読む
14	研究発表	口頭発表と質疑応答	発表原稿作成
15	研究発表	口頭発表と質疑応答	発表原稿作成

テキスト	Ernest Hemingway. *The Complete Short Stories of Ernest Hemingway* (Scribners). Hemingway に関する研究書・論文
参考書	アーネスト・ヘミングウェイ『われらの時代・男だけの世界』（新潮文庫）

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	永野　良博
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4218	オフィスアワー	月・木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	現代アメリカ小説、レイモンド・カーヴァー、英文精読、文学研究						
授業の概要	Raymond Carver による *Cathedral* を中心とした作品とそれらに関する研究書・論文を読み、アメリカ小説の研究に必要な知識をつけてゆく。扱われる主題は、真正なる自己、責任感、労働、失業、階級、愛、離別、確執、和解、共同体、依存症等である。研究書・論文に関する理解も深め、独自の主題の発見をし、精読により英文読解能力の向上を目指す。学生による研究発表、学生同士そして教員との意見交換が中心となる。						
達成目標および到達目標	【達成目標】文学作品の登場人物の心理と人間関係を読み取る能力を身に付ける。また様々な文学的主題への理解を深め、それらを文学研究者たちがどのように論じ、人間性の発見へと繋げてきたのか理解する。英語文学作品の読み取り方、文学に関する研究論文の書き方を習得する。同時に発表力、質問力、そして意見交換を通した建設的な議論実行力を身に付ける。 【到達目標】様々な主題を扱った研究論文の内容をまとめ発表することにより、出来るだけ多くの主題の可能性について知り、独自の主題発見へと繋げる。そのようにして独自の文学論作成に向けた準備をする。また他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点・可能性について知り、さらなる議論の向上を目指す。英文読解に関する発表を通して、英語読解力を伸ばす。						
評価方法および評価基準	【評価方法】授業参加（40%）、英文読解・主題発表（30%）、論文作成と発表（30%） 【評価基準】授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で発表できること。英文読解発表では文学作品の英文の正確な理解が必要となる。主題発表では文学的主題の発見力と説明力が求められる。論文発表では先行研究の理解とそれを基にした自分の意見の構築力、論文作成力が求められる。発表では質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要となる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Hemingway と Carver モダニズムから現代へ “Chef’s House” 真正な自己、責任感	意見交換	“Chef’s House,” 研究書・論文を読む
2	“Chef’s House” 真正な自己、責任感、愛、自己犠牲、トラウマの受け入れ	意見交換	“Chef’s House,” 研究書・論文を読む
3	“Feathers” 二組の夫婦の愛の形、愛の喪失、隣人愛、利己主義、捨てられた人生	意見交換	“Feathers,” 研究書・論文を読む
4	“Cathedral” 他者への偏見、嫉妬、コミュニケーションと相互理解	意見交換	“Cathedral,” 研究書・論文を読む
5	“A Small Good Thing” 子供の死、他者との確執、和解、生き延びること	意見交換	“A Small Good Thing,” 研究書・論文を読む
6	研究発表 英文解釈・主題解説発表 作者と編集者との確執、そこからの独立	口頭発表、質疑応答	“Cathedral,” 研究書・論文を読む
7	研究発表 英文解釈・主題解説発表 共同体の崩壊、純文学と階級	口頭発表、質疑応答	“Nobody Said Anything,” 研究書・論文を読む
8	研究発表 英文解釈・主題解説発表 子供を持ち親になること、作品執筆	口頭発表、質疑応答	“The Student’ Wife,” 研究書・論文を読む
9	研究発表 英文解釈・主題解説発表 Carver による詩作品、娘へのメッセージ	口頭発表、質疑応答	カーヴァー詩作品、 研究書・論文を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	研究発表 英文解釈・主題解説発表 閉ざされた自己、空間、マイノリティー	口頭発表、質疑応答	“Sixty Acres,” 研究書・論文を読む
11	研究発表 英文解釈・主題解説発表 身体的コミュニケーションとジェンダー	口頭発表、質疑応答	“Cathedral,” 研究書・論文を読む
12	研究発表 英文解釈・主題解説発表 食べることと物語	口頭発表、質疑応答	“Feathers,” 研究書・論文を読む
13	研究発表 英文解釈・主題解説発表 Carver の語り 氷山理論再考	口頭発表、質疑応答	“Why Don’t You Dance?” 研究書・論文を読む
14	研究発表 英文解釈・主題解説発表 カーヴァー作品における女性	口頭発表、質疑応答	“Where I’m Calling From” 研究書・論文を読む
15	まとめ	意見交換	発表資料の再読

テキスト	Raymond Carver. *Cathedral* (Vintage).　その他ハンドアウト
参考書	平石貴樹他編著『レイ、僕らと話そう レイモンド・カーヴァー論集』（南雲堂）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4218	オフィスアワー	月・木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	現代アメリカ小説、レイモンド・カーヴァー、英文精読、文学研究						
授業の概要	Raymond Carver による *Cathedral* を中心とした作品とそれらに関する研究書・論文を読み、アメリカ小説に関する研究発表を行い、独自の文学論文を作成してゆく。春学期に行った研究により知り得た様々な主題を基として、幅広く調査・研究を行い、独自の研究主題を発見・発展させる。また精読により英文読解能力の向上を目指す。授業では学生による研究発表、学生同士そして教員との意見交換が中心となる。						
達成目標および到達目標	【達成目標】Raymond Carver による *Cathedral* を中心とした作品とそれらに関する研究書・論文を読み、アメリカ小説に関する研究発表を行い、独自の文学論文を作成してゆく。春学期に行った研究により知り得た様々な主題を基として、幅広く調査・研究を行い、独自の研究主題を発見・発展させる。また精読により英文読解能力の向上を目指す。授業では学生による研究発表、学生同士そして教員との意見交換が中心となる。 【到達目標】文学作品と研究書・論文を読み、それらと対話するように自分の意見を発表し、文章化してゆく。出来るだけ多くの主題の可能性について知り、自分なりの主題発見へと繋げる。そのような作業を通して文学論作成を行う。また他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点・可能性について知り、さらなる議論の向上を目指す。英文読解に関する発表を通して、英語読解力を伸ばす。						
評価方法および評価基準	【評価方法】授業参加（40%）、英文読解・主題発表（30%）、論文作成と発表（30%） 【評価基準】授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で発表できること。英文読解発表では文学作品の英文の正確な理解が必要となる。主題発表では文学的主題の発見力と説明力が求められる。論文発表では先行研究の批判的理解とそれを基とした独自の主題・知識の創造的発展、明快で論理的な論文作成力が求められる。発表では質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要となる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
2	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
3	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
4	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
5	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
6	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
7	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
8	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
9	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
11	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
12	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
13	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
14	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究
15	研究発表、英文解釈・主題解説発表	口頭発表、質疑応答	調査、研究

テキスト	Raymond Carver. *Cathedral* (Vintage).　その他ハンドアウト
参考書	平石貴樹他編著『レイ、僕らと話そう レイモンド・カーヴァー論集』（南雲堂）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	平野　幸治
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4210	オフィスアワー	水2・3限、木2・3・4限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	Aspect（相），ambiguity（曖昧さ），maturity（成熟），intolerance（不寛容さ）						
授業の概要	プレゼミでは20世紀の前半のイギリスの作家E.M.フォスターの作品を取り上げて、文学研究の専門用語と概念が理解できるように授業を展開します。特に分析のポイントを2つ設定し、登場人物はプロット展開とどう結びつくのか、比喩はテーマとどう結びつくのかに着目し、小グループに分かれて作品を鑑賞する機会と発表する力を身につけます。またグループワークによって専門研究の知識と手順の手がかりを身につけます。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 学生は、E.M.フォスターの文学作品『ハワーズ・エンド』、『眺めの良い部屋』と彼の批評『小説の諸相』から、文学研究の専門用語と概念が理解できるようになります。特に「登場人物内面の変化」と「比喩の持つ効果と曖昧さ」に着目し、小グループに分かれて互いに意見を出し合いピアレヴューを活かす機会と発表する力を身につけます。またグループワークにより専門研究の知識と手順の手がかりを身につけ、学期末にはグループで発表してもらいます。 【到達目標】 学期末には学生は、プロット・サマリーやDVDの視聴に基づいて作品についてグループ・ディスカッションや10分程度の発表ができるようになる。他者の意見を聞くことによって自己の考えを相対化し、意見を修正し、その成果に基づいて十分な具体例や作品からの引用を用いて論理的に3,000語程度の日本語の文章が書けるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 毎回の授業の終了時に回収する Shuttle card に授業に関する質問や意見をきちんとした日本語で述べてもらいます（2%×15回＝30%）。グループ・ディスカッション終了時に専用フォームにグループ内の書記が記入しその成果を発表してもらいます（5%×4回＝20%）。学期末にグループワークの成果をプレゼンテーションしてもらいます（25%）。グループワークのプレゼンテーションをした後で、各自の発表のレポートを学期末に提出してもらいます（25%）。 【評価基準】 評価基準は授業の初回に詳しく説明します。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	イントロダクション：文学研究の目的と授業の進め方と E.M.フォスターの文学的意義ついて	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよびDVDを視聴しておく
2	E.M.フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』：描写の「曖昧さ」の意義と効果	①グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
3	E.M.フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』：描写の「曖昧さ」の多様性と効果	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよびDVDを視聴しておく
4	E.M.フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』:「登場人物内面の変化」とプロットの展開	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよびDVDを視聴しておく
5	E.M.フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』:「登場人物内面の変化」とプロットの展開	②グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
6	E.M.フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』と『小説の諸相』の相関性	講義とプロット・サマリーの説明	ノートの整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
7	E.M.フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』: 描写の「曖昧さ」の意義と効果	③グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
8	E.M.フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』: 描写の「曖昧さ」の意義と効果	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
9	E.M.フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』: 描写の「曖昧さ」の意義と効果	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
10	E.M.フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』:「登場人物内面の変化」とプロットの展開	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
11	E.M.フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』:「登場人物内面の変化」とプロットの展開	④グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
12	E.M.フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』と『小説の諸相』の相関性	講義とプロット・サマリーの説明	ノートの整理
13	E.M.フォスターの作品研究『ハワーズ・エンド』のグループ発表	発表と質疑応答	発表原稿の整理
14	E.M.フォスターの作品研究『眺めの良い部屋』のグループ発表	発表と質疑応答	発表原稿の整理
15	E.M.フォスターの小説研究と『小説の諸相』の相関性	講義と文学研究の意義の説明	レジュメの下調べと資料整理

テキスト	J. Bate. *English Literature: A Very Short Introduction* (Oxford University Press)
参考書	D.ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』（白水社） S. Barnet & W. Cain. *A Short Guide to Writing about Literature* (Pearson)

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	平野　幸治
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4210	オフィスアワー	水2・3限、木2・3・4限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	学習成果（learning outcomes）、汎用的知識（generic knowledge）、専門知識（expertise）						
授業の概要	文学研究の専門用語と概念が理解できるように、プレゼミで行った現代のイギリス作家 Kazuo Ishiguro の作品研究の成果を活かし、彼の作品の持つ個別性と汎用性を考慮して授業を展開する。テキストを使用して分析のポイントを考察し、特にプロット展開とどう結びつくのかを理解する。また小グループに分かれて文学研究や作品研究の方法や読者としての主体性の在り方を討論し、学期末にはグループワークによる成果を協力して発表する。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 学生は、Kazuo Ishiguro の文学作品『日の名残り』、『私を離さないで』から、文学研究の専門用語と概念が理解できるようになります。特に彼の作品の持つ個別性と汎用性に着目し、小グループに分かれて互いに意見を出し合い、彼の作品の今日的意義について討議します。また William Shakespeare の作品を用いて、グループワークにより専門研究の知識と手順の手がかりを身につけ、学期末にはグループで発表してもらいます。 【到達目標】 学期末には学生は、プロット・サマリーや DVD の視聴に基づいて作品についてグループ・ディスカッションや 10 分程度の発表ができるようになる。他者の意見を聞くことによって自己の考えを相対化し、意見を修正し、その成果に基づいて十分な具体例や作品からの引用を用いて論理的に 3,000 語程度の日本語の文章が書けるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 毎回の授業の終了時に回収する Shuttle card に授業に関する質問や意見をきちんとした日本語で述べてもらいます（2%×15 回＝30%）。グループ・ディスカッション終了時に専用フォームにグループ内の書記が記入しその成果を発表してもらいます（5%×4 回＝20%）。学期末にグループワークの成果をプレゼンテーションしてもらいます（25%）。グループ・ワークのプレゼンテーションをした後で、各自の発表のレポートを学期末に提出してもらいます（25%）。 【評価基準】 評価基準は授業の初回に詳しく説明します。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	イントロダクション : 文学研究の目的と授業の進め方と Kazuo Ishiguro の文学的意義ついて	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
2	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果	①グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
3	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
4	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 「登場人物内面の変化」とプロットの展開	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
5	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 「登場人物内面の変化」とプロットの展開	②グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
6	Kazuo Ishiguro の作品『日の名残り』と Haruki Murakami の相関性	講義とプロット・サマリーの説明	ノートの整理
7	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果	③グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
8	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
9	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』:「登場人物内面の変化」とプロットの展開	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
10	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』:「登場人物内面の変化」とプロットの展開	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
11	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』:「登場人物内面の変化」とプロットの展開	④グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
12	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』のグループ発表	発表と質疑応答	発表原稿の整理
13	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』のグループ発表	発表と質疑応答	発表原稿の整理
14	ゼミ論文作成の手引きと Kazuo Ishiguro の小説世界	講義と文学研究の意義の説明	レジュメの下調べと資料整理
15	ゼミ論文のテーマの選定と Kazuo Ishiguro の小説世界	講義と文学研究の意義の説明	レジュメの下調べと資料整理

テキスト	J. Bate. *English Literature: A Very Short Introduction* (Oxford University Press)
参考書	D.ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』（白水社） S. Barnet & W. Cain. *A Short Guide to Writing about Literature* (Pearson)

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	平野　幸治
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4210	オフィスアワー	水2・3限、木2・3・4限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	Film studies（映画論）、Stream of consciousness（意識の流れ）、Evil spirit（悪意）						
授業の概要	秋学期前半は、William Shakespeare の劇を取り上げて、文学研究の専門用語と概念が理解できるように授業を展開する。悲劇として *Othello*、喜劇は *A Midsummer Night's Dream* を扱い、グループでそれぞれの劇のテーマと演出の効果についてグループ・ディスカッションをする。秋学期後半は、映像と文学という観点から *The Hours* を扱い、問題意識と発問のスキルを伸ばし、学期末にはゼミ論文を完成し、口頭発表ができるように指導をする。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 学生は、ゼミナールⅠで獲得した文学研究の方法論を William Shakespeare の劇の考察に応用し、それぞれの劇のテーマと演出の効果について学期初めにグループで発表してもらう。Shakespeare の普遍性と固有性について理解する。後半は、映像と文学という観点から *The Hours* を扱い、Virginia Woolf という作家の問題意識と先進性に焦点を当てる。学生は知的興味を刺激されて、期末にはゼミ論文を完成し口頭発表ができるようになる。 【到達目標】 学期末には学生は、ゼミ論文を完成し口頭発表ができるようになる。William Shakespeare の劇を考察してグループで発表し、彼の普遍性と固有性が理解できるようになる。映画 *The Hours* を扱い、Virginia Woolf という作家の問題意識と先進性に焦点を当て、映像と小説の相違を理解するようになる。グループ・ディスカッションによって問題意識と発問のスキルを伸ばし、他者の意見を聞くことによって自己の考えを相対化し、意見を修正し、具体例や作品の引用を使い 3,000 語程度の日本語の論文が書けるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 毎回の授業の終了時に回収する Shuttle card に授業に関する質問や意見をきちんとした日本語で述べてもらいます（2%×15 回＝30%）。グループ・ディスカッション終了時に専用フォームにグループ内の書記が記入しその成果を発表してもらいます（5%×4 回＝20%）。学期末にグループワークの成果をプレゼンテーションしてもらいます（25%）。グループワークのプレゼンテーションをした後で、各自の発表のレポートを学期末に提出してもらいます（25%）。 【評価基準】 評価基準は授業の初回に詳しく説明します。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	William Shakespeare の悲劇 *Othello* と喜劇 *A Midsummer Night's Dream* 研究の意義	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
2	William Shakespeare の悲劇 *Othello* の作品研究	①グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
3	William Shakespeare の悲劇 *Othello* と喜劇 *A Midsummer Night's Dream* の作品研究	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
4	William Shakespeare の悲劇 *Othello* と喜劇 *A Midsummer Night's Dream* の作品研究	②グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
5	William Shakespeare の悲劇 *Othello* と喜劇 *A Midsummer Night's Dream* の作品研究	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
6	William Shakespeare の悲劇 *Othello* と喜劇 *A Midsummer Night's Dream* の作品研究	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
7	William Shakespeare の悲劇 *Othello* と喜劇 *A Midsummer Night's Dream* の作品研究	発表と質疑応答	発表原稿の整理

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
8	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
9	ゼミ論文の中間発表	発表と質疑応答	レジュメの下調べと資料整理
10	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究	③グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
11	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
12	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究	④グループ・ディスカッションと発表	ディスカッションのための資料整理
13	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究	講義とプロット・サマリーの説明	次回のプリントの下調べおよび DVD を視聴しておく
14	映画 *The Hours* と作家 Virginia Woolf の研究	講義とプロット・サマリーの説明	ノートの整理
15	ゼミ論文の発表	発表と質疑応答	レジュメの下調べと資料整理

テキスト	Germaine Greer. *Shakespeare: A Very Short Introduction* (Oxford University Press) 喜志哲雄『シェイクスピアのたくらみ』（岩波新書）
参考書	D.ロッジ、柴田元幸・斉藤兆史訳『小説の技巧』（白水社） S. Barnet & W. Cain. *A Short Guide to Writing about Literature* (Pearson)

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4208	オフィスアワー	火・水・木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、英語教育						
授業の概要	私たちは、住んでいる地域、文化、年齢、ジェンダー、職業といった様々な社会的要因によって、異なる話し方をする。また、場面や相手によって巧みに話し方を変えるということも日常的に行っている。このゼミでは、主に英語と日本語について、このような社会と言語のダイナミックな関係について基礎知識を得る。社会言語学の基礎文献を読み、その内容をまとめ、発表し、ディスカッションをする力をつける。						
達成目標および到達目標	【達成目標】社会言語学に関する基礎的知識を得ることを目標とする。社会言語学のこれまでの研究内容や理論を理解し、私たちの日々のことばの使用とどのような関係があるのかを考察する力をつける。また、得た知識を発表することによって効果的に他者に伝えることができるようになる。 【到達目標】日本語の文献を読むことによって、分析的な思考能力、読んだものをまとめる力、レジメを作成する力、相手に効果的に伝わる発表をする力、疑問点を追求し議論をする力をつけることを目標とする。最終的には英語で書かれた社会言語学の専門的文献を理解し、日本語で要約できることを目標とする。また、課題のレポート作成によって、文献研究の行い方を学ぶ。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 授業参画（20%）、発表（30%）、レポート（30%）、要約の提出（20%） 【評価基準】 別紙参照。評価基準の詳細については初回の授業時に配布する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	導入（社会言語学とは、授業の運営方法、発表とレジメの作成方法、要約の仕方）	講義	教科書 1-15 頁読む
2	地域による言語の違い	学生の発表 ディスカッション	教科書 19-36 頁読み要約 発表者はレジメ作成
3	言語と社会階級	学生の発表 ディスカッション	教科書 37-51 頁読み要約 発表者はレジメ作成
4	人種、民族による言語差	学生の発表 ディスカッション	教科書 52-65 頁読み要約 発表者はレジメ作成
5	言語の性差	学生の発表 ディスカッション	教科書 66-82 頁読み要約 発表者はレジメ作成
6	言語の年齢差	学生の発表 ディスカッション	教科書 83-95 頁読み要約 発表者はレジメ作成
7	言語の状況差、適切さ	学生の発表 ディスカッション	教科書 96-112 頁読み要約 発表者はレジメ作成
8	呼びかけ表現・ことばによる丁寧表現	学生の発表 ディスカッション	教科書 113-140 頁読み要約 発表者はレジメ作成
9	ことばのイメージ・会話スタイル	学生の発表 ディスカッション	教科書 141-175 頁読み要約 発表者はレジメ作成
10	含意と文化・非言語伝達	学生の発表 ディスカッション	教科書 176-204 頁読み要約 発表者はレジメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	社会言語学と英語教育	学生の発表 ディスカッション	教科書 205-212 頁読み要約 発表者はレジメ作成
12	英語文献の読み方、レポートの書き方（文献研究の方法）	講義	英語テキスト 1-16 頁概読 レポート作成
13	What do sociolinguists study? :Why do we say the same thing in different ways?	文献精読演習 ディスカッション	英語テキスト 1-3 頁精読し要約、レポート作成
14	What do sociolinguists study?: What are the different ways we say things?	文献精読演習 ディスカッション	英語テキスト 4-7 頁精読し要約、レポート作成
15	What do sociolinguists study?: Social factors, dimensions and explanations リフレクションタイム	文献精読演習 ディスカッション	英語テキスト 8-16 頁精読し要約、レポート提出

テキスト	田中春美、田中幸子（編著）『社会言語学への招待』（ミネルヴァ書房） 東照二（著）『社会言語学入門―生きた言葉のおもしろさにせまる』（研究社） J. Holmes. *An Introduction to Sociolinguistics, Fourth Edition* (Routledge)
参考書	南雅彦（著）『言語と文化―言語学から読み解くことばのバリエーション』（くろしお出版） 真田信治（編）『社会言語学の展望』（くろしお出版）
その他 特記事項	最後の 3 回の授業は英語での予習・復習が必要 言語学概論を履修済か履修中が好ましい。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	近藤　佐智子
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4208	オフィスアワー	火・水・木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、会話分析、英語教育						
授業の概要	主に英語と日本語を対象に、社会と言語のダイナミックな関係を社会言語学および語用論の観点から研究する。これまでに構築されてきた理論、研究方法、研究結果について英語で書かれた文献を読み概観し、具体的な事象に照らし合わせて先行研究の妥当性についてディスカッションを行う。学期の最後には各自選択したテーマについて文献研究を行いレポートにまとめる。						
達成目標および到達目標	【達成目標】社会の中で言語がどのように使用されているのかを分析できるようになるために、社会言語学および語用論の理論および先行研究の内容を理解し、それらの研究結果が妥当であるかどうかを判断できるようになる。幅広い文献を使って研究ができるようになるために、英語で書かれた専門書を読むことができるようになる。各自選択したテーマについて研究を行う素地を作るために、文献研究を行う。 【到達目標】英語の専門書を読み、要約や発表用レジメを作成し、内容を日本語で口頭発表することができるようになる。理論、専門用語、先行研究の内容を理解し、具体例をあげて説明やディスカッションができるようになる。テーマに沿った文献を探し、読み、論文の形式でまとめることができるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 文献研究論文（30%）、発表（30%）、要旨の提出（20%）、授業への貢献度（20%） 【評価基準】 別紙参照。評価基準の詳細については初回の授業時に配布する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	導入	講義	
2	Regional and social dialects	学生の発表 ディスカッション	教科書131-158頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
3	Gender and age	学生の発表 ディスカッション	教科書159-185頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
4	Ethnicity and social networks	学生の発表 ディスカッション	教科書186-205頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
5	Language change	学生の発表 ディスカッション	教科書206-236頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
6	Style, context and register	学生の発表 ディスカッション	教科書239-273頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
7	Speech functions, politeness and cross-cultural communication	学生の発表 ディスカッション	教科書274-300頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
8	Gender, politeness and stereotypes	学生の発表 ディスカッション	教科書301-336頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
9	Language, cognition and culture	学生の発表 ディスカッション	教科書337-362頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
10	Analysing discourse	学生の発表 ディスカッション	教科書363-408頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	個人研究の進め方：文献の探し方	講義、演習	個人テーマ決定のためのリサーチ
12	個人研究の進め方：文献論文の書き方	講義、演習	個人テーマ決定のためのリサーチ
13	研究計画の発表	学生の発表 ディスカッション	文献研究論文を書く 発表準備
14	研究計画の発表	学生の発表 ディスカッション	文献研究論文を書く 発表準備
15	研究計画の発表	学生の発表 ディスカッション	文献研究論文提出 発表準備

テキスト	J. Holmes. *An Introduction to Sociolinguistics, Fourth Edition* (Routledge) 田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』（春風社）
参考書	飯野公一ほか『新世代の言語学―社会・文化・人をつなぐもの』（くろしお出版） 岡本真一郎『ことばのコミュニケーション―対人関係のレトリック』（ナカニシヤ出版）
その他 特記事項	第 2 回から 10 回までは英語の予習、復習が必要である。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4208	オフィスアワー	火・水・木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、会話分析、実証研究						
授業の概要	ゼミナールⅠで得た社会言語学および語用論に関する知識を基に、個人で研究テーマを設定し、実際に調査研究を行い、成果を「ゼミ論文」としてまとめ、口頭でも発表する。その課程で論文の書き方、調査方法、分析方法、発表方法について学び、論文の完成に向けて段階的に準備を行う。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 言語の分析能力を身に付けるために、学生は自ら実証研究を行い、その研究の妥当性や先行研究との関連を判断できるようになることを目標とする。また、他の学生の研究発表を聞き、ディスカッションをすることによって、論理的思考をし、論理的に他者を説得することができるようになる。 【到達目標】社会言語学や語用論の理論や先行研究をふまえて、実証研究ができるようになる。研究にあたっては、先行研究論文を批判的に読み、仮説が検証できるような研究計画を立て、データを分析し、その結果を先行研究結果と比較考察し、結論を導き出すことができるようになる。また、論理的に文章を組み立てて論文を書き、その内容を効果的な視覚的補助を用いて発表することができるようになり、他者の発表に対しても分析的な発言ができるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 実証研究論文（40%）、発表（30%）、4回の発表のレジメ提出（10%）、授業への貢献度（20%） 【評価基準】 別紙参照。評価基準の詳細については初回の授業時に配布する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	導入：個人研究の進め方、研究論文の読み方	講義	個人研究のデータ収集
2	読んだ論文の内容発表	学生の発表 ディスカッション	各自論文を1本読み発表の準備、個人研究のデータ分析
3	読んだ論文の内容発表	学生の発表 ディスカッション	各自論文を1本読み発表の準備、個人研究のデータ分析
4	読んだ論文の内容発表	学生の発表 ディスカッション	各自論文を1本読み発表の準備、個人研究のデータ分析
5	研究中間報告発表（1）	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
6	研究中間報告発表（1）	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
7	研究中間報告発表（1）	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
8	研究中間報告発表（2）	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備、論文を書く
9	研究中間報告発表（2）	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備、論文を書く

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	研究中間報告発表（2）	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備、論文を書く
11	最終研究口頭発表の方法	講義	最終発表の準備
12	最終研究発表	学生の発表 ディスカッション	論文初稿提出、最終発表の準備
13	最終研究発表	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、論文の直し
14	最終研究発表	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、論文の直し
15	総括 リフレクションタイム	講義 ディスカッション	論文最終稿提出

テキスト	田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』（春風社） プリント『論文テーマの決定と仮説の立て方』『論文の書き方』
参考書	『社会言語科学』（社会言語科学会） 『近藤ゼミ論文集』

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4214	オフィスアワー	月3限、金2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味						
授業の概要	人間のいのちに対してどのような問いや関心が自分のうちに息づいているかをはっきりと自覚し、その問いを哲学的に掘り下げ、分かりやすくグループ発表ができるようにする。ディスカッションを通して各自の研究テーマを明確にするとともに、そのテーマについてどうすれば考えを推し進めていくことができるかを追求していく。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 哲学及び倫理学の分野における基礎的な研究的態度を養うことが達成目標である。 【到達目標】 ・文献検索の方法や文献読解の手順を学び、問題を提起し探求する姿勢を身につける。 ・グループのメンバーと協力して発表を準備し、研究発表の手法を学ぶ。 ・互いにディスカッションを通して、理解を深めていく面白さを味わうことができる。 ・自分の研究テーマについて小論文の形で論述展開することができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 授業参画（30%）、グループ発表（20%）、期末課題（2,500字以上のレポート）（50%） 【評価基準】 授業参画：授業中の意見交換に積極的に参加しているかどうか。 グループ発表：グループワークの成果を練り上げ、分かりやすく発表できるかどうか。 期末課題：複数の参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて問いを提起し、先行研究を理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション	講義 自己紹介	自己紹介の準備。自身の研究テーマを模索する。
2	研究方法の紹介・文献検索及び文献読解の方法	講義	研究テーマを事前に記した書類を提出。
3	各自の関心の確認とグループ分け	講義・グループ分け グループ作業	研究テーマについて問題を提起する。
4	グループごとの研究テーマの練り上げ	講義 グループ作業	問いとその動機を書いた書類を提出。
5	研究事例の紹介 グループ発表の仕方についての説明	講義 グループ作業	グループ発表の準備
6	2年生の研究発表の見学	2年生との合同授業 質疑応答への参加	2年生の発表から学んだことを書いて提出。
7	グループ発表についての事前確認と質疑応答	講義 グループ作業	グループ発表の準備
8	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。発表から学んだことをまとめる。
9	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。発表から学んだことをまとめる。
10	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。発表から学んだことをまとめる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	グループ発表	グループ発表 質疑応答・講評	発表の準備。発表から学んだことをまとめる。
12	グループ発表の振り返り 個人研究への導入	講義・小論文作成のエクササイズ	個人研究のテーマと問題意識を事前にまとめておく。
13	研究的取り組みの意義の再確認 研究能力の育成	講義 小論文作成のエクササイズ	問題提起を自分の言葉でまとめておく。授業後、それをよりよいものに直す。
14	研究レポート（小論文）作成の準備	講義 小論文作成のエクササイズ	小論文の構成を模式図にしておく。授業後、それをよりよいものに直す。
15	まとめ・リフレクションタイム	講義 リフレクション・アンケート	期末課題提出

テキスト	特に用いない。必要に応じて文書読解および論文作成に関するプリントを配布する。
参考書	授業中に適宜指摘する。
その他 特記事項	問題意識をもって主体的に授業に参画することを求める。発表前には担当教員と事前に入念な打ち合わせを行うこと。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	丹木　博一
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4214	オフィスアワー	月3限、金2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳						
授業の概要	哲学及び倫理学の分野に関する諸問題について、学生が自らテーマを選び、研究を進める。各自がブックレポートと研究発表を行い、互いにディスカッションを通して、テーマに関する理解を深めていく。この積み重ねによって、研究方法と発表方法を学び、文献読解、問題提起、論述の論理展開、討論に関する基礎力を身につける。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 哲学及び倫理学における基本的な研究能力を身につけることが達成目標である。 【到達目標】 ・哲学及び倫理学の分野のなかから自ら問いを立て、研究的に追求することができる。 ・研究に必要な文献を探して的確に読解し、理解内容を表現する力を身につける。 ・研究内容を論理的に筋道立てて表現し、分かりやすく発表することができる。 ・他の学生の発表に対し、建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・自らの考えの軌跡を研究論文の形に仕上げることができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 授業参画（15%）、ブックレポート（20%）、研究発表（25%）、期末レポート（2,500 字以上）（40%） 【評価基準】 授業参画：積極的に授業に参加し、議論の深化発展に寄与できるかどうか。 ブックレポート：研究文献を正確に読解し、理解内容を的確に表現できるかどうか。 研究発表：研究内容を論理的に表現し、分かりやすく発表することができるかどうか。 期末レポート：自らの思考の軌跡を、研究論文の形式に即して、分かりやすく論述できるかどうか。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション	講義	研究テーマについての事前アンケート提出
2	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
3	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
4	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
5	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
6	ブックレポート	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
7	中間総括	講義	発表準備 ディスカッション準備
8	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
9	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
10	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	研究発表についての振り返り 研究論文のまとめ方	講義 エクササイズ	小論文課題の提出 小論文の修正
12	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
13	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
14	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
15	総括	講義 ディスカッション	ディスカッション準備 期末レポート提出

テキスト	特に指定しない。適宜、文書読解および論文作成に関するプリントを配布する。
参考書	授業中に適宜指摘する。
その他 特記事項	問題意識をもって主体的に授業に参画することを求める。発表前には担当教員と事前に入念な打ち合わせを行うこと。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4214	オフィスアワー	月3限、金2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳						
授業の概要	自らが選んだ研究テーマをさらに絞り込み、ゼミナールⅠの研究発表において確認した各自の課題を解決することできるように、さらに研究を進めていく。各自一回研究発表を行い、時間をかけて議論をし、テーマに関する理解を深め、足りない点を自覚しながら、最終的に首尾一貫した研究論文を作成する。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 哲学及び倫理学の分野における研究発表能力及び論文作成能力を身につけることが達成目標である。 【到達目標】 ・自らが提起した問いを研究的に追求し、幅広い文献読解に基づいて、説得力のある研究発表を行う力を身につける。 ・他の学生からの問いに応答する力を養い、適切な批判であればそれを受け入れ、粘り強く自らの論考を練り直し、説得力のある研究論文の形に仕上げることができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 授業参画（30%）、研究発表（20%）、研究論文（50%） 【評価基準】 授業参画：授業中のディスカッションに積極的に参加し、議論の創造的発展に寄与できるかどうか。 研究発表：哲学的・倫理学的な問いを練り上げ、その問いに説得力のある回答を与えようと努めた、分かりやすい発表ができるかどうか。 研究論文：自分が提起した哲学的・倫理学的な問いについて、多様な議論に耳を傾けながら自分の立場を提示し、その妥当性について理由を挙げて論述できるかどうか。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション 研究能力育成のためのエクササイズ	講義・ディスカッション・エクササイズ	これまでの研究のまとめと次のステップへの展望
2	文章読解のエクササイズ	講義・ディスカッション・エクササイズ	研究テーマ提出 エクササイズの宿題
3	文章作成のエクササイズ	講義・ディスカッション・エクササイズ	宿題提出 エクササイズの宿題
4	文章作成のエクササイズ	講義・ディスカッション・エクササイズ	宿題提出 エクササイズの宿題
5	研究発表の方法の修得	発表・ディスカッション・エクササイズ	宿題提出 発表準備
6	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
7	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
8	研究発表の振り返り 研究論文作成のためのガイダンス	講義 ディスカッション	ディスカッション準備
9	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
10	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
12	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
13	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
14	研究発表	発表 ディスカッション	発表準備 ディスカッション準備
15	まとめ・リフレクションタイム	講義 リフレクション･アンケート	研究論文提出

テキスト	特に用いない。必要に応じて文書読解および論文作成に関するプリントを配布する。
参考書	授業中に適宜指摘する。
その他 特記事項	問題意識をもって主体的に授業に参画することを求める。発表前には担当教員と事前に入念な打ち合わせを行うこと。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	森下　園
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4202	オフィスアワー	水3限、木4限、金5限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	歴史学、社会史、時事問題、史資料論、プレゼンテーション						
授業の概要	各自が選んだ研究テーマにそって文献を講読し、個人報告を行い、ディスカッションを行う。トピックは、歴史学などの専門領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの時事問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込む、社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。						
達成目標および到達目標	【達成目標】研究に必要な文献・資料を自ら選定して読み込み、まとめて発表できるようにする。また他の学生の発表を聞いて、適切な意見を出し、積極的に討論に参加できるようにする。 【到達目標】各自が関心のある研究テーマを設定し、必要な文献・資料を選び、文献・資料紹介の形で発表を行うことで、適切な資料選択や資料の使用方法を身につける。また、最後に読み込んだ文献をまとめて、レジュメを使った発表ができるようになる。グループで意見を出しあうことで、討論に参加できるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】文献・資料紹介が10%×3回＝30%、研究報告が30%、2回の討論への参加が40%となる。 【評価基準】文献・資料紹介は、レジュメに基づき、事前に指導したように発表ができれば満点、文献をきちんと読み込んでいない、顔をあげて話していない、レジュメの準備不足などは各マイナス 5%、研究報告はレジュメに基づき、事前に指導したように発表ができれば満点、文献を使ってきちんと内容をまとめていない、顔をあげて話していない、レジュメの準備不足などは各マイナス 5%、討論への参加は、グループワークでディスカッションシートへの書き込みが十分にしてあれば満点、欠席・発言や記入がない場合は、各マイナス5%となる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	研究テーマ設定、文献・資料の選定	講義、研究テーマの発表、討論	研究テーマの候補をいくつか考えてくる
2	文献・資料紹介の例、具体的な作業手順の確認	講義、グループ討論	事前配布資料を見て、討論の準備を行う
3	文献・資料紹介①	発表、グループ討論 講評	文献・資料紹介の準備
4	文献・資料紹介①	発表、グループ討論 講評	文献・資料紹介の準備
5	文献・資料紹介①	発表、グループ討論 講評	文献・資料紹介の準備
6	ディスカッション①	グループ討論	ディスカッション内容について準備
7	文献・資料紹介②	発表、グループ討論 講評	文献・資料紹介の準備
8	文献・資料紹介②	発表、グループ討論 講評	文献・資料紹介の準備
9	文献・資料紹介②	発表、グループ討論 講評	文献・資料紹介の準備
10	ディスカッション②	発表、グループ討論 講評	ディスカッション内容について準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	まとめ発表についての注意事項と予備報告	発表、グループ討論 講評	文献・資料紹介の準備
12	研究報告	発表、グループ討論 講評	研究報告の準備
13	研究報告	発表、グループ討論 講評	研究報告の準備
14	研究報告	発表、グループ討論 講評	研究報告の準備
15	研究報告の相互批評と講評 夏季休暇中の研究計画策定	相互批評、講評、研究計画の発表	研究計画策定

参考書	『現代用語の基礎知識』（自由国民社） J・H・アーノルド『1 冊でわかる歴史学』（岩波書店）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4202	オフィスアワー	水3限、木4限、金5限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	歴史学、社会史、時事問題、史資料論、プレゼンテーション、論文作成						
授業の概要	春学期に引き続き、各自が選んだ研究テーマにそって個人報告を行い、内容をゼミ論文にまとめる。トピックは、歴史学などの専門領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの時事問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込む、社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。						
達成目標および到達目標	【達成目標】研究に必要な文献・資料を自ら選定して読み込み、パワーポイントスライドを用いた研究報告として発表できるようにする。また、文献・資料を適切に引用したゼミ論文を作成できるようにする。 【到達目標】春学期の文献紹介や研究報告を踏まえて、教員の指導を受けながらパワーポイントスライドを作成し、所定の方法で研究報告ができるようになる。また、他の学生の報告から、改善点などを学ぶことができる。報告内容を、文献・資料を引用し、引用註をつけたアカデミックな書式でのゼミ論文にまとめることができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】研究の予備報告が10%×2回＝20%、パワーポイントスライドを用いた研究報告が30%、報告に対する批評・質問が10%、A4で10枚以上のゼミ論文が40%となる。 【評価基準】文献・資料紹介は、レジュメに基づき、事前に指導したように発表ができれば満点、文献をきちんと読み込んでいない、顔をあげて話していない、レジュメの準備不足などは各マイナス 3%、研究報告はレジュメに基づき、事前に指導したように発表ができれば満点、文献を使ってきちんと内容をまとめていない、顔をあげて話していない、レジュメの準備不足などは各マイナス 5%、他の学生の報告に対する批評や質問を積極的かつ適切にしていれば満点、しなかった場合は0点、ゼミ論文は書式・締め切りを守れば内容に応じて30点以上、書式不備はマイナス5点、締め切り超過は1日につきマイナス5点。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	夏季休暇中の成果報告	研究報告	夏季休暇中の研究内容をまとめておく
2	研究報告の準備とディスカッション	講義、ディスカッション	事前配布資料を見て、報告の準備をすすめる
3	予備報告①	発表、質疑応答、相互批評	予備報告の準備
4	予備報告①	発表、質疑応答、相互批評	予備報告の準備
5	予備報告①	発表、質疑応答、相互批評	予備報告の準備
6	予備報告①	発表、質疑応答、相互批評	予備報告の準備
7	予備報告②	発表、質疑応答、相互批評	予備報告の準備
8	予備報告②	発表、質疑応答、相互批評	予備報告の準備
9	予備報告②	発表、質疑応答、相互批評	予備報告の準備
10	予備報告②	発表、質疑応答、相互批評	予備報告の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	パワーポイントスライド作成およびゼミ論の書式・引用についての注意	講義、質疑応答	パワーポイントスライドの用意
12	研究報告	発表、質疑応答、相互批評	報告とゼミ論の準備
13	研究報告	発表、質疑応答、相互批評	報告とゼミ論の準備
14	研究報告	発表、質疑応答、相互批評	報告とゼミ論の準備
15	研究報告と総括	発表、質疑応答、相互批評、総括	報告とゼミ論の準備

参考書	小笠原喜康『新版 大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	飯田　純也
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4216	オフィスアワー	木2・3・4限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	文学、映画、モラル、歴史、倫理、国家、暴力、生、愛、死、戦争、平和、欲望、人格						
授業の概要	このプレゼミでは、人文及び社会科学の諸問題を研究する準備の一環として、広義の文学作品の研究の実践を通して、研究の意義と方法を学ぶ。履修者は自分のテーマを自ら設定し、作品の分析、解釈を行い、研究成果を研究レポート（1,200 字）にまとめる。研究レポートを仕上げる前に、中間発表（30 分質疑応答含む）を行い、他者の意見、助言を取り入れ、中間レポート（600 字）を提出する。中間発表予定の前にテーマ発表を行い、発表当日他の履修者から建設的質問を引き出すように配慮する。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 このプレゼミの達成目標は、自ら選んだテーマについて、文学作品の分析から得た根拠を使い、自分の見解を説得的に論じることができる能力を身につけることである。 【到達目標】 1. 社会的、歴史的背景の中で問題を発見、評価、設定することができる 2. 自らの洞察、分析、推理、仮説を根拠付けて説明することができる 3. 上の 1 と 2 をふまえ、自分が導いた結論と対立する意見に対して、複数の根拠を上げながら、効果的に説得することができる						
評価方法および評価基準	【評価方法】 1. 中間発表は 20%、2. 中間レポートは 10%、3. 研究レポートは 40%、4. 授業参加状況、特に他の学生の発表時の積極的関与が 30% 【評価基準】 別紙参照。詳細は初回授業時に説明する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション 研究テーマ、発表方法、スケジュール	講義、質疑応答、ディスカッション	研究テーマの検討
2	研究方法の確認、研究事例、関連資料の紹介	講義、質疑応答、ディスカッション	資料収集、資料評価、資料解釈、発表の準備
3	研究方法の確認、研究事例、関連資料の紹介	講義、質疑応答、ディスカッション	資料収集、資料評価、資料解釈、発表の準備
4	研究方法の確認、研究事例、関連資料の紹介	講義、質疑応答、ディスカッション	資料収集、資料評価、資料解釈、発表の準備
5	研究方法の確認、研究事例、関連資料の紹介	講義、質疑応答、ディスカッション	資料収集、資料評価、資料解釈、発表の準備
6	研究方法の確認、研究事例、関連資料の紹介	講義、質疑応答、ディスカッション	研究テーマの決定
7	研究テーマの概要を発表	学生発表、質疑応答、講評	研究テーマ概要の準備
8	個人の中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	要点をノート、質問を用意、発表 / レポートの準備
9	個人の中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	要点をノート、質問を用意、発表 / レポートの準備
10	個人の中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	要点をノート、質問を用意、発表 / レポートの準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	個人の中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	要点をノート、質問を用意、発表 / レポートの準備
12	個人の中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	要点をノート、質問を用意、発表 / レポートの準備
13	個人の中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	要点をノート、質問を用意、発表 / レポートの準備
14	まとめ（1）	講義、質疑応答、ディスカッション	レポート草案提出
15	まとめ（2）	講義、質疑応答、ディスカッション	レポート最終草案提出

テキスト	研究方法の資料を随時配布
参考書	*Very Short Introductions Series* (Oxford University Press)

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	飯田　純也
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4216	オフィスアワー	木2・3・4限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	文学、ゲーム、冒険、魔法、推理、確率、ギャンブル、復讐、戦争、国家						
授業の概要	このゼミでは、人文及び社会科学の諸問題を研究する準備として、広義の文学作品の研究の実践を通して、研究の意義と方法を学ぶ。履修者は自分のテーマを自ら設定し、作品の分析、解釈を行い、研究成果を研究レポート（2,000 字）にまとめる。研究レポートを仕上げる前に、中間発表（30 分質疑応答含む）を行い、他者の意見、助言を取り入れ、中間レポート（1,000 字）を提出する。中間発表予定の前にテーマ発表を行い、発表当日他の履修者から建設的質問を引き出すように配慮する。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 達成目標は、自ら選んだテーマについて、文学作品の分析から得た根拠を使い、自分の見解を説得的に論じることができる能力を身につけることである。 【到達目標】 1. 社会的、歴史的背景の中で問題を発見、評価、設定することができる 2. 自らの洞察、分析、推理、仮説を根拠付けて説明することができる 3. 上の 1 と 2 をふまえ、自分が導いた結論と対立する意見に対して、複数の根拠を上げながら、効果的に説得することができる						
評価方法および評価基準	【評価方法】 1. 中間発表は 20%、2. 中間レポートは 10%、3. 研究レポートは 40%、4. ゼミ参加状況、特に他の学生の発表時の積極的関与が 30% 【評価基準】 別紙参照。詳細は初回授業時に説明する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション ゲームと文学	講義、質疑応答、グループワーク	事前に研究テーマの候補を複数考える
2	ゲームと文学（1） 冒険、魔法、ロマンス	講義、質疑応答	資料を読み、筋と要点をノート
3	ゲームと文学（2） 推理、確率、ギャンブル	講義、質疑応答、グループワーク	資料を読み、筋と要点をノート
4	ゲームと文学（3） 復讐	講義、質疑応答	資料を読み、筋と要点をノート
5	ゲームと文学（4） 戦争	講義、質疑応答、グループワーク	資料を読み、筋と要点をノート
6	ゲームと文学（5） 国家	講義、質疑応答、グループワーク	ノートを整理、質問を考える
7	中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
8	中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
9	中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
10	中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
12	中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
13	中間発表（1 人 30 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
14	レポート提出直前指導	個人指導	ノートを整理、レポートの準備
15	レポート提出直前指導	個人指導	ノートを整理、レポートの準備

テキスト	1. William Makepeace Thackeray's. *Vanity Fair* (Web) 2. Sophocles'. *Oedipus the King* (Web) 3. William Shakespeare's. *Hamlet* (Web) and *King Kear* (Web)
参考書	初回授業時に以下の参考資料のリンクをメールで通知する。 1. Study Guide for *Vanity Fair* 2. Study Guide for *Oedipus the King* 3. Study Guides for *Hamlet* and *King Kear*

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	飯田　純也
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4216	オフィスアワー	木2・3・4限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	文学、哲学、歴史、宗教、心理、倫理、社会、政治、理解力、分析力、構成力、表現力						
授業の概要	このゼミでは、人文及び社会科学の諸問題を研究する準備として、広義の文学作品の研究の実践を通して、研究の意義と方法を学ぶ。履修者は自分のテーマを自ら設定し、作品の分析、解釈を行い、研究成果をゼミ論文（3,000 字）にまとめる。ゼミ論文を仕上げる前に、中間発表（30 分質疑応答含む）を行い、他者の意見、助言を取り入れ、中間レポート（1,000 字）を提出する。中間発表予定の前にテーマ発表を行い、発表当日他の履修者から建設的質問を引き出すように配慮する。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 達成目標は、自ら選んだテーマについて、文学作品の分析から得た根拠を使い、自分の見解を説得的に論じることができる能力を身につけることである。到達目標には以下のことが含まれる。 【到達目標】 1. 社会的、歴史的背景の中で問題を発見、評価、設定することができる 2. 自らの洞察、分析、推理、仮説を根拠付けて説明することができる 3. 上の 1 と 2 をふまえ、自分が導いた結論と対立する意見に対して、複数の根拠を上げながら、効果的に説得することができる						
評価方法および評価基準	【評価方法】 1. 中間発表は 20%、2. 中間レポートは 10%、3. ゼミ論文は 40%、4. ゼミ参加状況、特に他の学生の発表時の積極的関与が 30%。 【評価基準】 別紙参照。詳細は初回授業時に説明する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション 研究テーマ、発表方法、スケジュール	講義、質疑応答、ディスカッション	事前に研究テーマの候補を複数考える
2	第 1 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
3	第 1 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
4	第 1 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
5	第 1 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備、中間レポート提出
6	第 2 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
7	第 2 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
8	第 2 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
9	第 2 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備、中間レポート提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	第 3 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
11	第 3 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
12	第 3 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備
13	第 3 回中間発表（1 人 15 分）	学生発表、質疑応答、講評	質問を用意、中間発表の準備、中間レポート提出
14	論文提出直前指導	個人指導	中間発表を整理、ゼミ論文の準備、論文提出
15	論文提出直前指導	個人指導	中間発表を整理、ゼミ論文の準備、論文提出

テキスト	各自の研究関連の資料を随時配布
参考書	*Very Short Introductions Series* (Oxford University Press)

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4215	オフィスアワー	火3限、水2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	英語力の向上、TOEIC Vocabulary、アカデミック・スキルズの鍛錬、言語学に関する学び						
授業の概要	本講はアカデミック・スキルズのトレーニング、英語力の向上、そして言語学の分野に関する基礎的な知識の習得という3つの大きな柱から構成されている。英語力を高める目的でテキストは英語で書かれた言語学の入門書が指定されている。さらに TOEIC 関連の語彙も学期を通して学び、また総合的な英語力を英字新聞などの記事を利用しながら養っていく。同時に学生たちはテキスト内で自分の担当するチャプターをレジュメにまとめ、口頭発表をすることで、また他の学生の発表チャプターに関しては事前にチャプター・サマリーを書くことで、発表の仕方を学ぶとともに言語学の分野について広く学んでいく。						
達成目標および到達目標	【達成目標】上記の「概要」で述べたアカデミック・スキルズの向上に関して、学生たちはチャプター・プレゼンテーションを通して、発表の仕方やレジュメの作り方、また発表後のディスカッションの仕方を学ぶ。英語力に関しては、学生たちは英語で書かれたテキストを通し、専門的な内容を英語で読むということへの慣れができる。また英字新聞や雑誌の記事を使い chunk-reading や chunk-writing、日本語訳や reaction を書くなどの言語活動をする中で英語力の底上げが可能となる。そして何よりも次年度のゼミⅠ、Ⅱで扱うことになる社会言語学をはじめとする言語学の領域を概観することで、この分野の基礎固めが可能となる。 【到達目標】学生たちはプレゼンテーションに向け、英語で書かれたテキストをどのようにまとるべきかについて、担当者のサポートを得ながらしっかりと理解し、それをレジュメづくりに活かすことができるようになる。ディスカッションについても、聞き手として単なる意見交換をするのではなく、発表の内容をクリティカルにとらえ、自らの意見や主張を発表者にわかりやすく伝えられるようになる。英語学習に関しては、学生たちは課題として出される chunk-reading や chunk-writing を通し、英語の文構造や語の配列を徹底的に学ぶ。それにより英語のテキストに対する理解力とスピードが上がる。そして言語学の分野に関して、チャプター・プレゼンテーションとチャプター・サマリーを通してその分野の全体像を把握することができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】・英語の課題およびその他の提出物：20%　・英単語のクイズ：20%　・チャプター・プレゼンテーション（発表）& その後のディスカッション：20%　・チャプター・サマリー（当該チャプターの要約）：20%　・期末ペーパー：20% 【評価基準】 発表：担当するチャプターの内容がわかりやすくまとめられているか（概念・理論・用語などの定義が、言語例とともに説明されているか、レジュメの基本的な書き方に沿っているか等）。 期末ペーパー：自分がプレゼンテーションで扱ったテーマについて、さらに文献を読み、より深いあるいは広いスコープでレポートに仕上げられているか。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Course overview	Lecture, discussion	Read the first section of the textbook
2	On Pre-seminar: Introduction Talking about learning academic skills Talking about assignments	Lecture, discussion group work, doing exercises	Review the handout, Start the assignments
3	Why study English Linguistics?	Students' presentation, discussion, feedback, lecture, quiz	Textbook (chapter 1): read and write a chapter summary
4	How English Has Changed over the Centuries <History of English>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture	Textbook (chapter 2): read and write a chapter summary

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
5	The Sounds of English <Phonetics and Phonology>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture, quiz	Textbook (chapter 9): read and write a chapter summary
6	How Words Are Made <Morphology>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture, quiz	Textbook (chapter 3): read and write a chapter summary
7	How Words Mean <Semantics 1>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture	Textbook (chapter 4): read and write a chapter summary
8	How English Phrases Are Formed <Syntax 1>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture, quiz	Textbook (chapter 5): read and write a chapter summary
9	How Sentences Mean <Semantics 2>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture, quiz	Textbook (chapter 7): read and write a chapter summary
10	How to Communicate with Other People <Pragmatics>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture, quiz	Textbook (chapter 8): read and write a chapter summary
11	Regional Varieties of English <Sociolinguistics 1>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture, quiz	Textbook (chapter 10): read and write a chapter summary
12	English in Society <Sociolinguistics 2>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture	Textbook (chapter 11): read and write a chapter summary
13	How Englsih is Acquired <Psycholinguistics>	Students' presentation, discussion, feedback, lecture	Textbook (chapter 12): read and write a chapter summary
14	Course review	Lecture, discussion Q and A	Review of the course Work on the term paper
15	Reflection Time	Do activities for students' reflection	Continue working on the term paper

テキスト	影山太郎、ブレント・デ・シェン、日比谷潤子 *First Steps in English Linguistics*（くろしお出版）
参考書	飯野公一　ほか（編）『新世代の言語学』（金星堂） 長谷川瑞穂（編）『はじめての英語学』（研究社）
その他特記事項	「言語学概論」の科目を履修済みか同時履修が望ましい。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4215	オフィスアワー	火3限、水2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	社会言語学、言語バリエーション、社会方言、地域方言、言語使用、バイリンガリズム						
授業の概要	本講では専門書を英語で読む、自己研究テーマに沿って発表をする、様々な言語事象についてディスカッションをする、専門分野に関するレポートを作成するなどのアカデミック・スキルズ修練のための活動を、社会言語学という専門分野の内容を題材に行っていく。学期前半は社会言語学に関する指定テキストを輪読しながら、言語使用とそのバリエーションについて学び、後半は社会言語学の分野から各自がテーマを選択し、そのテーマに沿って文献を調べ、まとめ、そしてその発表を行っていく。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 本講の掲げる目標のひとつは大学という場での学問や専門的な研究を始めるために必要とされる様々なアカデミック・スキルズのトレーニングであるため、学生たちは各自2回の発表を通して、自分が理解した内容や得た知識を相手に分かりやすく伝達することができるようになる。同時にテーマとして設定されている社会言語学の分野への理解を深めることができる。 【到達目標】 本講における発表を通して、学生はレジュメの作成、発表時の注意点、先行文献の使い方、発表後のディスカッションや質疑応答の進め方、質問に対する答え方、自らの意見の整理の仕方などを習慣づけられ、自らできるようになっていく。また専門分野に関する学期末レポートを作成する中で、先行研究の重要性や自らの意見・主張の大切さ、文献を批判的に見る力、文献リストの書き方などを学び、実践していく。また進路という観点からも、編入希望者の中で特に英語学や言語コミュニケーション系の学科に興味を持っている学生は、言語の分野における基礎研究や個別研究の一部を垣間見ることになり、それは自らの編入に対する志望動機の明確化と専門知識の集積につながっていく。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 ・発表1（Textbook *Sociolinguistics* by Spolsky）：20% ・発表2（自己研究テーマ）：20% ・授業参加・提出物（Post-presentation discussion, chapter summary）：15% ・学期末レポート（Term paper）：25% ・Article Note：20% 【評価基準】 ・発表 1、2 では、発表の進め方、およびレジュメの出来、またディスカッション時の受け答えの良し悪しも見ていく。 ・授業参加は聞き手として発表者にどのようなフィードバックを返すことができるかに着目し、特に批判的な視点をともなうフィードバックに高い評価が与えられる。 ・Article Note は既定回数のエントリーが達成できたかどうかが評価に反映する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Course overview	Lecture, discussion	
2	The social study of language	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	Textbook (chapter 1): read and write a chapter summary
3	The ethnography of speaking and the structure of conversation	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	Textbook (chapter 2): read and write a chapter summary
4	Locating variation in speech	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	Textbook (chapter 3): read and write a chapter summary

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
5	Styles, gender, and social class	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	Textbook (chapter 4): read and write a chapter summary
6	Bilinguals and bilingualism	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	Textbook (chapter 5): read and write a chapter summary
7	Societal multilingualism	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	Textbook (chapter 6): read and write a chapter summary
8	Applied sociolinguistics	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	Textbook (chapter 7): read and write a chapter summary
9	自己研究テーマに関する発表	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	発表内容の復習
10	自己研究テーマに関する発表	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	発表内容の復習
11	自己研究テーマに関する発表	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	発表内容の復習
12	自己研究テーマに関する発表	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	発表内容の復習
13	自己研究テーマに関する発表	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	発表内容の復習
14	自己研究テーマに関する発表	Students' presentation, post-presentation discussion, lecture	発表内容の復習
15	Course review On writing the term paper	Lecture, discussion Group work	Work on the term paper

テキスト	Spolsky, B. *Sociolinguistics* (Oxford U.P.)
参考書	東照二『社会言語学入門』（研究社）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4215	オフィスアワー	火3限、水2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	社会言語学、言語バリエーション、言語と年齢、Genderlect、地域方言、外来語使用						
授業の概要	ゼミナールⅠで基本的なアカデミック・スキルズのトレーニングと社会言語学の分野に関するテーマの絞り込みを終えた学生たちは、ゼミⅡで本格的に自己研究を開始する。最終目標であるゼミ論文の作成に向け、学生たちは学期中に計3回の発表（2回の中間報告と1回の最終発表）を行いながら、自らの研究を進めていく。毎回の授業は3〜4名の学生の発表とディスカッションで構成され、最後にひとり一人に対し、担当教員よりフィードバックがなされる。ゼミ論文の最終提出は1月下旬。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 本講では学びの集大成としてゼミ論文の作成を課しているが、学生たちは自らの自己研究に必要な様々な知識やスキルを専門書の読書や授業内での発表などを通じて修得する。同時に論文のテーマを言語学関連に限定しているため、言語に関する高い専門性を身に付けることができる。 【到達目標】 本講を通して学生はゼミ論文作成という大きな目標を掲げ、それを達成するため計画的にそして確実に必要な作業を進めていくことを学ぶ。具体的には先行研究の収集、論文構成の決定（仮説やデータ収集法）、実際のデータ収集、そして実際の執筆作業など論文完成までの長い工程の中をひとつずつのステップを着実に踏み、最終的に自らの計画した目標を達成する。同時にゼミ論文の作成や発表の機会を通し、自らのテーマ設定の仕方や先行研究の重要性について学ぶ一方で、既存の主張や考え方に対して批判的な思視点も養われていく。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 ・ゼミ論文：60% ・発表（3回）およびディスカッション：30% ・授業参加、提出物、その他：10% 【評価基準】 ・ゼミ論文：全体の構成を含め、一つの論文として成り立っているかに評価の主眼が置かれる。 ・発表：自らの研究内容をわかりやすく説明しているか、研究内容に関して質問された際、過不足なく答えているか、聴衆として発表内容に対してコメントや質問をしているか、等。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Course overview	講義、ディスカッション	初回授業で配布されるハンドアウトの復習
2	ゼミ論文について テーマ決定	講義、ディスカッション、SAMPLE提示	論文作成の理解を深める
3	第1回プレゼンテーション Group 1	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
4	第1回プレゼンテーション Group 2	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
5	第1回プレゼンテーション Group 3	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
6	第1回プレゼンテーション Group 4	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
7	第 1 回プレゼンテーション Group 5	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
8	第 1 回プレゼンテーション Group 6	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
9	第 2 回プレゼンテーション Group 1	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
10	第 2 回プレゼンテーション Group 2	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
11	第 2 回プレゼンテーション Group 3	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
12	第 2 回プレゼンテーション Group 4	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
13	第 2 回プレゼンテーション Group 5	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
14	第 2 回プレゼンテーション Group 6	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
15	Reflection Time	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備および今後への改善
	第 3 回プレゼンテーション Group 1~6	発表、ディスカッション、フィードバック	発表者：発表の準備

テキスト	指定テキストは使用しない。学生の発表用レジュメ、および必要に応じて論文作成に関するハンドアウトを使用する。
参考書	東照二『社会言語学入門』（研究社） 浜田麻里、平尾得子、由比紀久子『大学生と留学生のための論文ワークブック』（くろしお出版）
その他特記事項	「言語学概論」や「社会言語学」といった言語学関連の科目を単位取得していることが望ましい。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4209	オフィスアワー	火1限、水3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	American Literature, American Culture						
授業の概要	This seminar focuses on American Literature and American Culture. In our first semester, students will learn how to do close readings of famous American short stories. These stories will serve as an entry into an exploration of American Culture. Students will also learn the basic literary ideas and terms necessary to discuss the stories, make presentations, and write reports about them. Students will learn to identify and compare different aspects of culture, including values, behaviors and beliefs. Also, in pre-zemi, students will learn how to talk about and understand in detail American culture in terms of communication, the education system, the workplace, and family life.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: Students in this course will: ・gain an in-depth understanding of American Literature and Culture ・improve their reading skills ・further develop their writing skills ・practice and enhance their ability to participate in focused discussions on literary topics ・develop presentation skills *Learning objectives*: By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of American culture that we have studied during the course. Additionally, they should be able to participate in a literary discussion based on the short stories we have studied. In a discussion of the type, they should be able to use literary terms, analysis, and be able to relate summary and detail points of particular stories.						
評価方法および評価基準	*Categories*: Class Participation 15%, Mid-Term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25% *Criteria*: Class participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Reports: complete reports by the deadline, at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; Presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Who studies culture? Different views of learning culture, generalizations and stereotypes	Short lecture, pair work discussion	DAC: pages 1-6 GAS: 'Before You Read' p 2
2	*The Gift of the Magi* by O. Henry, different views of learning culture, big-C and little-c	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 8-11 DAC: pages 7-17
3	Values application, the formation of values in a society	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 14 DAC: pages 18-24
4	*Love of Life* by Jack London Choosing an independent study novel	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 22-26
5	Consumerism in the United States, thrify shopping, credit cards, values application	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 27 DAC: pages 25-26
6	*The Story of an Hour* by Kate Chopin Prepare for 'Book Club' sessions; the American workplace, different types of occupations in the U.S.,	Short discussion and Presentation 1	GAS: Exercises on pages 34-38
7	Speaking out: how Americans communicate, American conversation, nonverbal communication, earnings and benefits	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 40 DAC: pages 27-30
8	*The Journey to Hanford* by William Saroyan, The American education system, higher education	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 49-54 DAC: pages 31-34

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	*The Tell-Tale Heart* by Edgar Allan Poe 'Book Club' session (discuss novel)	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 56 DAC: 35-38
10	*Tom Whitewashes the Fence* by Mark Twain; philosophy of American education	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 63-68 DAC: pages 39-41
11	*A White Heron* by Sarah Orne Jewett; organization and enrollment in Am. schools	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 70 DAC: pages 42-43
12	*Of the Coming of John* by W.E.B. Du Bois; family life in the United States, family structures	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 84 GAS: Exercises on pages 77-82 DAC: pages 44-46
13	*The Lady, or the Tiger?* By Frank R. Stockton, changing family structures, the older generation	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 98 GAS: Exercises on pages 91-96 DAC: pages 47-50
14	Individual Presentations	Give presentation 2; group discussion	GAS: Exercises on pages 109-114, prepare disc questions
15	Individual Presentations	Give presentation 2; group discussion	Prepare discussion questions, review outline for present's

テキスト	Draper, C.G. *Great American Stories 1* (Longman) Delk, Cheryl L. *Discovering American Culture, 2nd Edition* (U of Michigan Press)

科目名	SES200:　ゼミナール I					担当教員	T. Gould
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4209	オフィスアワー	火・水 3 限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	American Literature, American Culture						
授業の概要	This seminar continues to expand our horizons in the study of American Literature and American Culture. In Seminar 1, students will continue to develop close reading skills by exploring famous American short stories. These stories will provide some of the material we use to generate discussions and research about American Culture. Students will continue to expand their vocabulary of literary ideas and terms necessary to discuss the stories, make presentations, and write reports. Students will learn to identify and compare different aspects of culture, including values, behaviors and beliefs. Also, in Seminar 1, students will continue to practice how to talk about and understand in detail American culture in terms of communication, the education system, the workplace, and family life.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: Students in this course will: ・gain an in-depth understanding of American Literature and Culture ・improve their reading skills ・further develop their writing skills ・practice and enhance their ability to participate in focused discussions on literary topics ・develop presentation skills *Learning objectives*: By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of American culture that we have studied during the course. Additionally, they should be able to participate in a literary discussion based on the short stories we have studied. In a discussion of the type, they should be able to use literary terms, analysis, and be able to relate summary and detail points of particular stories.						
評価方法および評価基準	*Categories*: Class Participation 15%, Mid-Term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25% *Criteria*: Class participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Reports: complete reports by the deadline, at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; Presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	American literature / culture lecture; course overview; course guidelines and expectations; reading aloud	Short lecture, pair work discussion	DAC: pages 51-53 GAS: 'Before You Read' p 2
2	*The Romance of a Busy Broker* By O Henry; vocabulary guessing strategies, word morphology	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 7-12 DAC: pages 54-56
3	*The Ingrate* By Paul Laurence Dunbar; leisure time activities, activating background knowl.	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 14 DAC: pages 57-61
4	Using *go* and *play* with various sports, suffixes and context, parts of speech	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 23-28
5	*How I Went to the Mines* by Bret Hart; understanding figurative vs literal meaning, interrupting politely	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 30 DAC: pages 62-65
6	Presentations	Short discussion and Presentation 1	GAS: Exercises on pages 40-47
7	*Paul's Case* Willa Cather; survey – finishing sentences, recognizing signal words of cause & effect	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 50 DAC: pages 66-69 GAS: Exercises on pages 60-66

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
8	*A Jury of her Peers* by Susan Glaspell; history of extreme sports, Americans and fitness vs inactivity and obesity	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 68 DAC: pages 70-74 GAS: Exercises on pages 78-84
9	*The Whale Hunt* By Herman Melville; finding information on the internet	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 86 DAC: pages 75-80
10	American education system II, using an English-English dictionary, recognizing pronoun reference words	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 95-101 DAC: pages 81-85
11	*Paste* By Henry James; using abbreviations and symbols in note-taking, paraphrasing sent.	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 104 DAC: pages 86-90
12	Enrollment in American schools, American higher education, finding information in complex schedules	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 116-122 DAC: pages 91-96
13	*The Lost Phoebe* By Theodore Dreiser; problems in American Education, techniques for paraphrasing	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 124 GAS: Exercises on pages 91-96 DAC: pages 138-145
14	Presentations	Give presentation 2; Group discussion	Prepare discussion questions, review outline for present's
15	Presentations	Give presentation 2; Group discussion	Prepare discussion questions, review outline for present's

テキスト	C.G. Draper. *Great American Stories 2* (Longman) Delk, Cheryl L. *Discovering American Culture, 2nd Edition* (U of Michigan Press)

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4209	オフィスアワー	火1限、水3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	American Literature, American Culture						
授業の概要	This seminar continues to expand our horizons in the study of American Literature and American Culture. In Seminar 2, students will continue to develop close reading skills by exploring famous American short stories. These stories will provide some of the material we use to generate discussions and research about American Culture. Students will continue to expand their vocabulary of literary ideas and terms necessary to discuss the stories, make presentations, and write reports. Students will learn to identify and compare different aspects of culture, including values, behaviors and beliefs. Also, in Seminar 2, students will continue to practice how to talk about and understand in detail American culture in terms of communication, the education system, the workplace, and family life.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: Students in this course will: ・gain an in-depth understanding of American Literature and Culture ・improve their reading skills ・further develop their writing skills ・practice and enhance their ability to participate in focused discussions on literary topics ・develop presentation skills *Learning objectives*: By the end of this course students should be able to adequately explain and discuss the features of American culture that we have studied during the course. Additionally, they should be able to participate in a literary discussion based on the short stories we have studied. In a discussion of the type, they should be able to use literary terms, analysis, and be able to relate summary and detail points of particular stories.						
評価方法および評価基準	*Categories*: Class Participation 15%, Mid-Term Report 15%, Final Report 30%, Presentation 1 15%, Presentation 2 25% *Criteria*: Class participation: display a willingness to participate and an understanding of the cultural and literary topics we study in class, engage in discussions, listen respectfully and attentively to other students and to the teacher; Reports: complete reports by the deadline, at an appropriate length, using structural features of writing that we discuss in class; Presentations: make slides with appropriate amount and quality of information, speak in a clear, loud voice, do not rely overly much on notes and show a deep understanding of the topic.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	American literature / culture lecture; course overview; course guidelines and expectations; reading aloud	Short lecture, pair work discussion	DAC: pages 105-109 GAS: 'Before You Read' p 2
2	*Breakfast* by John Steinbeck; values application, exchange student experience	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 7-14 DAC: pages 110-114
3	*A Day's Wait* by Ernest Hemingway; earning a living, the American workplace	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 16 DAC: pages 115-117
4	*April Showers* by Edith Wharton; occupations, statistics, vocabulary development	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 22-28
5	*Rip Van Winkle* by Washington Irving; recognizing and using different word forms	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 48 DAC: pages 118-119
6	Presentations	Short discussion and Presentation 1	GAS: Exercises on pages 62-68
7	*The Wives of the Dead* by Nathaniel Hawthorne; scanning a reading and news article for specific info	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 70 DAC: pages 120-123

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
8	*Nine Needles* by James Thurber; filling in an outline of a reading, occupations: past and present	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 79-88 DAC: pages 124-128
9	*A Mystery of Heroism* by Stephen Crane; industrialization in the U.S, avoiding sexist language	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p106 DAC: pages 129-133
10	Predicting syllable stress, white collar, blue collar, outlining	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 118-124 DAC: pages 134-137
11	*A Visit of Charity* by Eudora Welty; participating in an American group discussion	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p 126 DAC: pages 138-141
12	Interpreting information on a graph, making teamwork work, family life in the US, writing descriptive paragraph	Short lecture, pair work discussion	GAS: Exercises on pages 136-142 DAC: pages 142-145
13	*The Black Ball* By Ralph Ellison; recognizing synonyms, evaluating credibility, skimming for main ideas	Short lecture, pair work discussion	GAS: 'Before You Read' p144 GAS: Exercises on pages 157-163 DAC: pages 146-150
14	Individual Presentations	Give presentation 2; Group discussion	Prepare discussion questions, review outline for present's
15	Individual Presentations	Give presentation 2; Group discussion	Prepare discussion questions, review outline for present's

テキスト	C.G. Draper. *Great American Stories 3* (Longman) Delk, Cheryl L. *Discovering American Culture, 2nd Edition* (U of Michigan Press)

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4217	オフィスアワー	月・火3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、言語教育政策、多文化共生						
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、基礎的な事柄を学ぶ。一部、2 年生と合同でゼミを行ない、2 年生の卒業研究の研究内容や研究方法、発表の仕方等を学ぶ。						
達成目標および到達目標	【達成目標】本科目は、「多文化共生とバイリンガリズム」に関する知識を深め多文化共生社会の現状や課題について批判的に考える力を少しずつ養っていくことを目的とする。 【到達目標】 学期の終わりには、バイリンガルの言語発達や母語保持について理解できるようになる。 日本におけるバイリンガルの言語教育環境についても問題を認識できるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】授業への積極参加 20%、口頭発表 30%、期末レポート 50% 【評価基準】 授業への積極参加：ゼミでのディスカッションへの参加を評価する。 口頭発表：文献講読において担当箇所を要約し問題点を明確に述べる。 期末レポート：バイリンガルの言語発達や母語保持について理解し、バイリンガルの言語教育環境についても問題を分析する力を評価する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	夏休みの研究報告 1	発表、ディスカッション	プレゼン準備
2	夏休みの研究報告 2	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
3	文献講読 1	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
4	文献講読 2	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
5	文献講読 3	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
6	文献講読 4	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
7	文献講読 5	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
8	文献講読 6	発表、ディスカッション	文献を読んで、質問に答える
9	2 年生卒業研究中間発表	1～2 年合同 質疑応答	期末プロジェクト準備
10	2 年生卒業研究中間発表	1～2 年合同 質疑応答	期末プロジェクト準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	2年生卒業研究中間発表	1～2年合同 質疑応答	文献を読んで、質問に答える
12	期末プロジェクト発表	1年生のみ 質疑応答	発表準備
13	期末プロジェクト発表	1年生のみ 質疑応答	発表準備
14	2年生卒業研究最終発表	1～2年合同 質疑応答	発表準備
15	まとめ、レポートの書き方	講義	レポート作成

テキスト	宮崎幸江『日本に住む多文化の子どもと教育―ことばと文化のはざまで生きる』（ぎょうせい出版）
参考書	授業のなかで指定する。
履修条件、前提科目	日本語教育概論及び、バイリンガル教育履修

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4217	オフィスアワー	月・火3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、ニューカマー、オールドカマー、日本の言語教育政策						
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、各自がテーマを決めて1年かけて自主的に学ぶ。ゼミナールⅠでは、研究テーマへの導入として、ゼミ全体で日本における言語マイノリティの子どもと教育についてグループごとに研究する。						
達成目標および到達目標	【達成目標】本科目は、日本における言語マイノリティの現状について正しい知識を身に付け、テーマに沿って課題研究をすることを目的とする。 【到達目標】 学期の終わりまでに、言語マイノリティの教育問題を理解できるようになる。また、文献をもとに、それらの問題を批判的に分析することができるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】授業への積極的参加20%、口頭発表30%、期末レポート50% 【評価基準】 授業参加：発言やディスカッションへの貢献で評価する。 口頭発表：言語マイノリティの教育問題のポイントを表現できる。 期末レポート：文献をもとに、言語マイノリティの教育問題を批判的に分析できる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ゼミナールⅠの進め方についての説明 グループ分けについて	講義、ディスカッション	研究テーマ絞り込み
2	文献講読1 ことばとアイデンティティ1	講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
3	文献講読2 ことばとアイデンティティ2	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
4	文献講読2 「6章多文化共生社会の実現にむけて」	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
5	文献講読3 「7 章多様化する外国籍の子どもと多文化教育」	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
6	文献講読4 「8章文化・ことばと国際理解教育」	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
7	文献講読5 「9章国際理解教育」	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
8	文献講読6 「10章多文化の子どものエンパワメント」	発表、講義、ディスカッション	文献講読、ノートにまとめる、要約、発表準備
9	論文の構造	講義、ディスカッション	研究テーマ絞り込み
10	文献の読み方・まとめ方	講義、ディスカッション	研究テーマ絞り込み

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	調査の方法と結果のまとめ方	講義、ディスカッション	研究テーマ絞り込み
12	論文テーマ発表 研究の計画をたてる	講義、ディスカッション	文献講読、論点を考える、 アウトライン作成
13	アウトライン作成	講義他	文献講読、発表準備
14	発表	発表	発表準備、ハンドアウト、 スライド作成
15	まとめ 期末レポートについて	講義、質疑応答	レポート作成

テキスト	宮崎幸江『日本に住む多文化の子どもと教育―ことばと文化のはざまで生きる』（ぎょうせい出版）

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4217	オフィスアワー	月・火3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、言語教育政策、多文化共生						
授業の概要	日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、各自がテーマを決めて1年かけて自主的に学ぶ。ゼミナールIIでは、ゼミナールIで学んだことを発展させて課題研究を行う。先行研究の読み方、研究課題の絞り方、調査方法と結果のまとめ方等についてもクラスで学び、学年末に卒業研究としてゼミ論文集を編集する。						
達成目標および到達目標	【達成目標】本科目は1年次から参加してきたコミュニティフレンドまたはカレッジフレンドでの経験と、日本語教育概論・演習、プレゼミナール等で学んだ知識を総合させて、多文化共生社会の現状や課題について批判的に考える力を養うことが目的とする。 【到達目標】 学期終了までに、プレゼンテーションやディスカッションをするスキルも上達し、研究論文が書けるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】授業への積極的参加20%、口頭発表30%、期末レポート50% 【評価基準】 授業参加：発言やディスカッションへの貢献で評価する。 口頭発表：各自の研究テーマにそってポイントを述べられるかを評価する。 期末レポート：文献をもとに、言語マイノリティの教育問題を批判的に分析し、論文にまとめる力を評価する。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	夏休みの研究報告1	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
2	夏休みの研究報告2	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
3	夏休みの研究報告3	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
4	卒業研究の計画	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
5	文献講読1	講義、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
6	文献講読2 過去の卒業論文集を読む	講義、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
7	卒業研究グループディスカッション	講義、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
8	卒業論文の書き方1	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備
9	卒業研究中間発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備
10	卒業研究中間発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	卒業論文の書き方 2	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
12	卒業論文アウトライン発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献講読、テーマ絞り込み
13	卒業論文指導	講義	文献講読、テーマ絞り込み
14	卒業研究発表	講義	発表準備
15	まとめ	講義	論文書き

参考書	授業内で指示する。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4205	オフィスアワー	月・木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	multiculturalism, immigration, ethnicity, identity, vocabulary, presentation skills						
授業の概要	In this course, students will read about and discuss various topics related to multiculturalism—such as immigration, ethnicity, discrimination, and cultural identity. While doing so, students will build up their vocabulary and improve their ability to discuss complex cultural and social issues in English. Each student will do two presentations: a shorter one dealing with “facts” about one of the countries shown below, and a longer one dealing with an “issue” related to multiculturalism in one of those countries.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: Students will learn about “multiculturalism” in various countries, improve their ability to understand and discuss social and cultural issues in English, and develop basic research and presentation skills. *Learning objectives*: ・ understand and use key English vocabulary from readings related to social and cultural issues; ・ summarize important information from readings about social and cultural issues; ・ express one’s own views on multiculturalism-related issues affecting people in various countries in the world today; ・ choose an appropriate, focused topic for a small research project; ・ organize information from research into an outline for a presentation.						
評価方法および評価基準	*Categories*: Participation (35%), Homework (35%), Presentation #1 (10%), Presentation #2 (20%). *Criteria*: ・ Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views; ・ Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, use of vocabulary from readings, summarizing of information, expression of own views; ・ Presentations: use of vocabulary, summarizing of information, expression of own views, topic selection and focus, organization.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Orientation to the course	explanation by teacher, small-group work	Read the course syllabus
2	Presentation assignment will be explained; Tutorial: presentation basics	lecture, small-group work, in-class writing	Read *English Essentials* (“Speech,” “Presentation”)
3	Mini-research project about the people (ethnic groups, religions, languages, etc.) of a country	small-group discussions	Do light research; start reading materials for classes 5-8
4	Preparation for presentation	individual guidance from teacher	Do initial research for presentation
5	Readings, discussions, and presentations #1: Settler-states (Canada, Australia, Brazil, Mexico)	presentations, small-group discussions	Read handouts, write summary and reaction; prepare presentation
6	Readings, discussions, and presentations #1: Europe zone (U.K., France, Spain, Turkey)	presentations, small-group discussions	Read handouts, write summary and reaction; prepare presentation
7	Tutorial: organizing and presenting your ideas	lecture, small-group work, in-class writing	Read *English Essentials* (“Presentation,” “Essay”)
8	Readings, discussions, and presentations #1: Asian cases (Malaysia, Indonesia, India, Philippines)	presentations, small-group discussions	Read handouts, write summary and reaction; prepare presentation
9	Readings, discussions, and presentations #1: Other complicated cases (Switzerland, South Africa, Israel, Egypt)	presentations, small-group discussions	Read handouts, write summary and reaction; prepare presentation

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	Preparation for presentation	small-group work, discussion, writing	Do research for presentation; prepare outline
11	Presentations #2: country and topic decided by each student	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout
12	Presentations #2: country and topic decided by each student	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout
13	Presentations #2: country and topic decided by each student	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout
14	Presentations #2: country and topic decided by each student	presentations, small-group discussion	Prepare presentation and handout
15	Reflection Time activities, recap of semester, overview of Seminar I and Seminar II	small-group work, in-class writing	Review materials studied to date

テキスト	Handouts (mainly news articles) will be provided by the teacher. To prepare for presentations, students will find books or other materials to read.
参考書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press) *English Essentials: An Academic Skills Handbook* (Sophia University Junior College Division)
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class.

科目名	SES200:　ゼミナール I					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	水４限	研究室	4205	オフィスアワー	火 12:30-14:15、 水 13:00-14:30
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	連絡先	
キーワード	multiculturalism, independent study, research skills, presentation						
授業の概要	Building upon what was learned in the Pre-seminar, in this course students will investigate various key issues related to multiculturalism. These may include, for instance, illegal immigration, ethnic identity, religious intolerance, racism, language laws, and multicultural education. Through independent study and presentations during the semester, students will develop their research and academic presentation skills.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: Students will learn to summarize, organize, present, and ask questions about information that they have found in books and other sources. *Learning objectives*: By the end of the semester, students will be able to summarize both general information about an issue and more focused information about that issue in a specific country; ask good questions to guide their own future study of an issue; prepare a well-organized outline for a presentation; and do a well-organized 7-10 minute presentation.						
評価方法および評価基準	*Categories*: Participation in class activities (45%), Written work such as presentation handouts (20%), and Presentations (35%). *Criteria*: ・ Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English; ・ Written work: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes both general and focused information, well organized, includes appropriate study questions. ・ Presentations: appropriate topic, appropriate length, summarize both general and specific information, well organized (following outline), include appropriate study questions.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Orientation: perspectives on multiculturalism.	Explanation by teacher, small-group discussion	Read syllabus carefully.
2	Discuss independent research.	Explanation by teacher, small-group discussion	Review syllabus and class notes.
3	Presentation preparation.	Individual guidance from teacher	Organize materials and notes for presentation draft
4	Presentation #1. Topics: (1) Immigration and (2) Identity.	Presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
5	Presentation #1. Topics: (3) Religion and (4) Attitudes and Ideologies.	Presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
6	Presentation #1. Topics: (5) Policies and Laws and (6) Social Institutions.	Presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
7	Talking about one's study interests (tutorial).	Lecture, small-group work, individual guidance	Review presentation notes and class notes
8	Talking about one's study interests (discussion).	Small-group discussion	Write worksheet about study interests
9	Asking good questions for research (tutorial).	Lecture, in-class writing, pair work	Read handout provided by teachers, review class notes.
10	Presentation preparation.	Individual guidance from teacher	Prepare draft of presentation outline.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	Presentation #2: Topic and country decided by each student.	Presentations, small-group discussion	Submit: Outline, Vocabulary list, References list.
12	Presentation #2: Topic and country decided by each student.	Presentations, small-group discussion	Submit: Outline, Vocabulary list, References list.
13	Presentation #2: Topic and country decided by each student.	Presentations, small-group discussion	Submit: Outline, Vocabulary list, References list.
14	Presentation #2: Topic and country decided by each student.	Presentations, small-group discussion	Submit: Outline, Vocabulary list, References list.
15	Recap of Spring semester. Planning for Fall semester.	Explanation by teacher, small-group discussion	Review class notes, handouts.

テキスト	None. To prepare for presentations, students will select their own materials to read.
参考書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press)
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class.

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4205	オフィスアワー	月・木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	multiculturalism, independent research project, presentation, report						
授業の概要	In this course, each student will do an independent research project on a topic related to multiculturalism. For this, students will choose their own topic, think of their own research question, and find related books and other materials to read. In addition to two short presentations, each student will also do a longer final presentation and write a report about her research findings.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: Students will develop their ability to do an independent research project and to discuss their study interests. *Learning objectives*: ・ formulate a suitable question for an independent research project; ・ conduct reading-based research focused on that research question; ・ summarize key information related to the research topic; ・ describe and analyze “data” related to the research topic; ・ organize information in a manner suited to a research report; ・ explain one’s study intersests in relation to ideas and information learned from books or other materials.						
評価方法および評価基準	*Categories*: Participation (25%), Homework (25%), Presentations (25%), Report (25%). *Criteria*: ・ Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, effort to explain one’s study intersests in relation to ideas and information learned from books or other materials; ・ Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes key information related to the research topic; ・ Presentations and Report: suitability of research question; evidence of research focused on the research question; summarizing of information related to the research topic; description and analysis of “data” related to the research topic; organization of information.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Overview of Fall semester	Explanation by teacher, small-group discussion	Prepare “Research Project Topic” document.
2	Tutorial: independent research topic, research question, research method	Explanation by teacher, small-group discussion	Submit: weekly reading report
3	Short presentation #1: your independent research topic	Presentations, small-group discussion	Submit: weekly reading report; prepare presentation
4	Short presentation #1: your independent research topic	Presentations, small-group discussion	Submit: weekly reading report; prepare presentation
5	Short presentation #1: your independent research topic	Presentations, small-group discussion	Submit: weekly reading report; prepare presentation
6	Short presentation #2: describing and analyzing “data”	Presentations, small-group discussion	Submit: weekly reading report; prepare presentation
7	Short presentation #2: describing and analyzing “data”	Presentations, small-group discussion	Submit: weekly reading report; prepare presentation
8	Short presentation #2: describing and analyzing “data”	Presentations, small-group discussion	Submit: weekly reading report; prepare presentation
9	Tutorial: organizing your final report	Explanation by teacher, small-group discussion	Read handouts provided by the teacher

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	Prepare for final presentation, final report	Individual guidance from teacher	Write draft of presentation outline
11	Final presentation: your research findings	Presentations, whole-class discussion	Prepare presentation
12	Final presentation: your research findings	Presentations, whole-class discussion	Prepare presentation
13	Final presentation: your research findings	Presentations, whole-class discussion	Prepare presentation
14	Final presentation: your research findings	Presentations, whole-class discussion	Prepare presentation
15	Reflection Time activities, recap of semester	Small-group discussion, in-class writing	Submit: final report

テキスト	None. For their own independent research projects, students will choose their own books and other materials to read.
参考書	A. Rattansi. *Multiculturalism: A Very Short Introduction* (Oxford University Press)
その他特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class.

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4203	オフィスアワー	月3限、水5限、木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	コミュニカティブな言語教育、言語習得、児童英語教育、応用言語学						
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、言葉の教育、習得、運用、すべての観点から言葉と人との関わりを扱う。テーマは学生が独自に設定する。プレゼミでは各自が独自のテーマで研究を進める土台づくりとなる「言葉」に関する知識を応用言語学の観点から学び、そこから幅広く発展するさまざまな分野についての知識と関心を深め、2年次のゼミナールへの土台となる力を養う。						
達成目標および到達目標	【達成目標】関心のあるテーマについて文献を読み、文献資料に基づいて発表を行い、質疑応答ができるようになる。具体的には、応用言語学及びさまざまな関連テーマの内容について読み、調べ、発表することを通して言語と言語教育、言語習得の基礎について学ぶ。発表を通して効果的なプレゼンテーションのスキルを実践例から学ぶ。 【到達目標】わかりやすく、聞き手に伝わるプレゼンテーションを目標にグループや個人で発表をすることを通して、発表の手順とわかりやすい発表のために不可欠な要素について体得する。発表に際して資料を読み、十分に理解を深め、理解した内容をアウトラインとしてまとめレジュメを作成する過程で専門的知識を深める。発表を聞き的確な質問、コメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。発表、質疑応答、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢も養う。						
評価方法および評価基準	【評価方法】①ディスカッション等授業時の活動への参加（30%）、②リアクションペーパー及び相互フィードバック（30%）、③グループおよび個人プレゼンテーション（20%）、④期末レポート（20%）。 【評価基準】①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、話し合いに積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。③特定のテーマについて資料や文献を調べ、聞き手が内容を理解しやすい構成とヴィジュアル資料を作成し、興味・関心を共有できるように準備し発表し、質疑応答を行える。④テーマに沿って調べた内容やテキストの要約を読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。さらに、発表等に活用することを念頭に置いて、所定の書式に沿って資料として作成できる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ガイダンス 発表グループと分担決め	講義、 グループワーク	テキスト①通読
2	テキストの読み進め方、具体的な発表の手法	グループワーク	テキスト①通読 発表準備
3	テキスト①をもとに発表・ディスカッション（1）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
4	テキスト①をもとに発表・ディスカッション（2）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
5	テキスト①の総括、テキスト②について発表の進め方の指導	講義、講評、 ディスカッション	相互フィードバック準備 リアクションペーパー
6	テキスト②をもとに発表・ディスカッション（1）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	テキスト②をもとに発表・ディスカッション（2）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
8	テキスト②をもとに発表・ディスカッション（3）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	テキスト②をもとに発表・ディスカッション（4）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
10	テキスト②をもとに発表・ディスカッション（5）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
11	次年度ゼミに向けて興味・関心のある分野を考える	グループワーク、 講義、発表、講評	レポート提出準備 リアクションペーパー
12	次年度ゼミに向けて興味・関心のある分野の発表（1）	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、レポート提出 リアクションペーパー
13	次年度ゼミに向けて興味・関心のある分野の発表（2）	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、レポート提出 リアクションペーパー
14	次年度ゼミに向けて興味・関心のある分野の発表（3）	グループワーク、 講義、発表、講評	発表準備、レポート提出 リアクションペーパー
15	振り返りとまとめ ［リフレクション・タイム］	振り返り活動 教員による個別面談	総括（レポートとして提出）

テキスト	①白井恭弘『ことばの力学―応用言語学への招待』（岩波書店） ②上智大学 CLT プロジェクト・編『コミュニカティブな英語教育を考える：日本の教育現場に役立つ理論と実践』（アルク）

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4204	オフィスアワー	火4限、木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	キリスト教、聖書思想、マザーテレサ、神の愛、隣人愛、生き方の選択、使命、宗教						
授業の概要	マザーテレサの生き方や言葉を通して、キリスト教が目指す愛の本質的要素を理解するとともに、人生や社会と向き合う時の視点や姿勢を学ぶ。発表やディスカッションを通して、問題意識を広げながら各自の研究テーマを明確にし、研究方法を定めていく。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 マザーテレサの人生と活動をモデルとしてキリスト教的愛の理論と実践について考察し、宗教が本来有している創造的、建設的、肯定的側面を理解するとともに、信仰者が人間的主体性を損なわずに超越的存在と関わることの可能性とその重要性を学ぶ。 【到達目標】 キリスト教人間観において認められる人間性の中の宗教的・超越的次元を、信仰という形で生きる際には、その実践結果や実りを見ることでその宗教の正邪を判断することが可能であることを知ると共に、信仰者自身の人間的発達課題と密接に関わっている問題であることを理解する。宗教学や人間学的分野のテーマに関する自己の見解についてディスカッションできるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 授業時の積極的参加（25%）、発表（25%）、中間課題（1,600～2,000字のレポート）（20%）、期末課題（2,500字程度のレポート）（30%） 【評価基準】 授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。 発表：担当する単元の内容を的確に理解し要約した上でレジュメを作成し、ディスカッションのために、主題に沿った発展的質問を準備しかたどうか。 中間課題：キリスト教的視点からの「神の愛」や「隣人愛」に関する問いを立て、自分自身の考察として見解をまとめることができること。 期末課題：各自の問題意識に沿ったテーマに関する文献を最低一冊読み、問いを立てて考察し、論理的な根拠を示しながら、自己の見解としてまとめることができること。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	オリエンテーション	講義 自己紹介	自己紹介の準備、各自の研究テーマの模索
2	マザーテレサの活動の源泉	講義	発表準備、各自の研究テーマの模索
3	キリスト教的「神の愛」と「隣人愛」	講義	発表準備、 pp.i-xix を読む
4	Chapter 1　Dream It Simple, Say It Strong	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション準備、pp.1-13 を読む
5	Chapter 2　To Get to the Angels, Deal with the Devil	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション準備、pp.14-24 を読む
6	Chapter 3　Wait! Then Pick Your Moment	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション準備、pp.25-36 を読む
7	Chapter 4　Embrace the Power of Doubt 中間課題提出	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション、中間課題、pp.37-46 準備
8	Chapter 5　Discover the Joy of Discipline	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション準備、pp.47-56 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	Chapter 6 Communicate in a Language People Understand	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション準備、pp.57-71 を読む
10	Chapter 7 Pay Attention to the Janitor	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション準備、pp.72-79 を読む
11	Chapter 8 Use the Power of Silence	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション準備、pp.80-87 を読む
12	Conclusion	発表、ディスカッション	発表、ディスカッション準備、pp.89-106 を読む
13	個人発表	発表	問題意識と研究テーマ、研究方法の発表準備
14	個人発表	発表	問題意識と研究テーマ、研究方法の発表準備
15	まとめ、リフレクションタイム	講義	期末課題提出

テキスト	RUMA BOSE & LOU FAUST. *Mother Teresa, CEO* (Berrett-Koehler Publishers, Inc.)
参考書	ルシンダ・ヴァーディ編・猪熊弘子訳『マザーテレサ語る』（早川書房）
その他 特記事項	発表者は事前に担当教員と打ち合せを行うこと

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	小林　宏子
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4204	オフィスアワー	火4限、木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	聖書的人間観、人間の尊厳、神の似姿、Stewardship、キリスト教的隣人愛、異文化理解						
授業の概要	英米思想の中でキリスト教と関連、又は対立して発生した理念を考察しながら、従来、日本的とされていた理念との差異を明らかにすることで、国際化が進む状況において西欧の人々の思考と行動を理解する際に考慮すべき視点を学ぶ。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 キリスト教の背景を持つ英米人の理念と日本的とされてきた理念との差異の背景を理解し、その特徴を表す英単語を用いて表現できるようになる。また、双方の理念が本来、何を重視し尊重してきたのかを理解することで、多文化共生社会を生きる上での相互理解に役立つ視点を学ぶことができる。 【到達目標】 西欧社会の人々を理解する際に、表面的な差異に留まることなく、その背後にある理念や行動様式が目指すものにまで理解の範囲を広げようとする姿勢を養い、相互理解を深めながら、自分の見解を形成し、表現することができる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 授業時の積極的参加（2%×15回＝30%）、リアクションペーパー（個人考察）（1%×15回＝15%）、個人発表（20%）、期末課題（2,500字以上の小論文35%） 【評価基準】 ・授業時の積極的参加：ディスカッション時に活発な意見や質問を発表したこと。 ・リアクションペーパー：テキストの内容を自分の現実と関連付けて考察した上で、自分の意見を論理的に記述できるかどうか。 ・個人発表：担当する単元の内容を的確に理解し要約した上でレジュメを作成し、ディスカッションのために、主題に沿った発展的質問を準備したかどうか。 ・期末課題：授業内で扱った主題の一つを選び、関連する文献を読んだ上で、小論文の形で論述できるかどうか。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	講義の概要説明と Chapter 1 Altruism:	講義、ディスカッション（話し合い）	pp.3-10を踏まえて考察しリアクションペーパーを書く
2	Chapter 2 Spirit over Matter	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.11-19の準備、発表担当者は発表準備
3	Chapter 3 World Stewardship	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.20-27の準備、発表担当者は発表準備
4	Chapter 4 Positive Thinking in the Western Mind	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.28-35の準備、発表担当者は発表準備
5	Chapter 5 Historicism	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.36-42の準備、発表担当者は発表準備
6	Chapter 6 The Sacred Contract	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.43-50の準備、発表担当者は発表準備
7	Chapter 7 Egalitarianism	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.51-58の準備、発表担当者は発表準備
8	Chapter 8 Pragmatism	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.59-67の準備、発表担当者は発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	Chapter 9 Rebellion against Authority	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.68-75 の準備、発表担当者は発表準備
10	Chapter 10 Traditional Japanese Lifestyle	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.76-83 の準備、発表担当者は発表準備
11	Chapter 11 Traditional Pioneer Lifestyle	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.84-92 の準備、発表担当者は発表準備
12	Chapter 12 Classical Education and Debate	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.93-100 の準備、発表担当者は発表準備
13	Chapter 13 Modern Ideals in Education	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.101-107 の準備、発表担当者は発表準備
14	Chapter 14 Ideals of Communication	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.108-116 の準備、発表担当者は発表準備
15	Chapter 15 Causality and Responsibility	発表、話し合い、リアクションペーパー	pp.117-125 の準備、発表担当者は発表準備

テキスト	CARL BECKER『American and English Ideals 英米人の理念』（英宝社）
参考書	ペトロ・ネメシェギ『キリスト教とは何か』（聖パウロ女子修道会） オリエンス宗教研究所編『聖書入門』（オリエンス宗教研究所）
その他 特記事項	発表担当者は発表準備の段階で担当教員と打ち合せの時間を持つこと

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4204	オフィスアワー	火4限、木3限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	キリスト教、信仰、希望、愛、救い、永遠のいのち、人格的成長、超越的次元						
授業の概要	キリスト教を基にして超越的次元を含めた人間観を見直し、個人の人生や世界の未来にいかなる希望を持ち得るのか、また、その根拠を何に求めることができるかを考察する。各自は人間学的テーマの中から主題を定め、個人研究の発表とディスカッションを通して考察を深め、自分の意見を論文の形式にまとめる。						
達成目標および到達目標	【達成目標】 人格的成長や人生の生き方についての問いと向き合い、自分なりの見解をまとめて発表する能力を身につけるとともに、論文形式の文章を作成することができるようになる。 【到達目標】 ・キリスト教的視点からの問題意識を参照しながら、社会の中の人間性に関する課題を見つけ、文献研究を通して考察を深め、論理的な文章表現をもって、研究発表をする力を身につけること。 ・批判や反対意見をも受け取る力を養い、論拠を示しながら見解を述べる論文形式の文章を作成すること。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 ・授業時の積極的参加（30%）、研究発表（30%）、研究論文（40%） 【評価基準】 ・授業時の積極的参加：授業中のディスカッションに積極的に参加し、議論の展開に寄与したかどうか ・研究発表：参考文献を的確に理解した上で考察を深めているかどうか。また、自己の見解を分かりやすくまとめ、発表できるかどうか。 ・研究論文：授業内での議論を踏まえて問いを発展させ、説得力のある論文に仕上げることができるかどうか。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	キリスト教の信仰と希望	講義､ディスカッション	個人研究を進める。授業を踏まえて pp.5-12 を読む。
2	初代教会の信仰と希望	講義､ディスカッション	個人研究を進める pp.13-26 を読む
3	永遠のいのちとは	講義､ディスカッション	個人研究を進める pp.27-33 を読む
4	近代のキリスト教的信仰と希望（1） 研究発表	講義、発表、ディスカッション	発表準備 pp.34-38 を読む
5	近代のキリスト教的信仰と希望（2） 研究発表	講義、発表、ディスカッション	発表準備 pp.39-50 を読む
6	キリスト教的希望の真の姿 研究発表	講義、発表、ディスカッション	発表準備 pp.51-64 を読む
7	希望を学び実践するための「場」（1） 研究発表	講義、発表、ディスカッション	発表準備 pp.65-70 を読む
8	希望を学び実践するための「場」（2） 研究発表	講義、発表、ディスカッション	発表準備 pp.71-81 を読む
9	希望を学び実践するための「場」（3） 研究発表	講義、発表、ディスカッション	発表準備 pp.82-97 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	希望の星であるマリア 研究発表	講義、発表、ディスカッション	発表準備 pp.98-103 を読む
11	研究発表	発表、ディスカッション	発表準備 論文作成
12	研究発表	発表、ディスカッション	発表準備 論文作成
13	研究発表	発表、ディスカッション	発表準備 論文作成
14	研究発表	発表、ディスカッション	発表準備 論文作成
15	まとめ、リフレクションタイム	講義、リフレクション・アンケート	研究論文提出

テキスト	教皇ベネディクト十六世『回勅　希望による救い』（カトリック中央協議会）
参考書	場﨑洋『イエスのたとえ話　私たちへの問いかけ』（聖母文庫）
その他 特記事項	発表者は事前に担当教員と打ち合せを行うこと

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	水4限	研究室	4213	オフィスアワー	火4限、木2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	連絡先	
キーワード	グローバル問題、グローバル・リテラシー、英語読解力・発信力の育成						
授業の概要	「国際対話能力」の基礎となるのが「教養」であるといわれる。国際化の時代に、英語だけでなく、相手の文化（異文化）理解能力が欠かせない。つまり、相手とよく対話するために、その人の国の文化的基礎、すなわち、宗教、習慣、歴史、言語、芸術を理解することに他ならない。現地に行って経験するだけでなく、それ以前に読書等により、その国の言語、文化、宗教、歴史背景を本質的に理解し、「知識」とすることが大切である。また、同時に自分の文化や言語の特性を良く理解することが、自らの「アイデンティティー」の確信や、相手に伝える内容の確実な準備となる。 この授業では、グローバル・リテラシーの能力を言語面と国際問題（グローバル問題）に焦点を当てて学習していく。グローバル問題は、各国の人々が地球全体の問題として緊急に解決しなければならない問題である。グローバル問題を理解するためには、様々な事柄が関連する背景知識を教養として知る必要がある。また、問題の解決のために、共通言語（英語）を使用して人々と話し合い協力していく場所では、各自の問題意識の表明が欠かせないのである。以上の事を踏まえ、このプレゼミでは、英語で聞き、読み、書きの3技能を磨きながら、興味ある研究課題を探し、調べ、発表する方法で学習を進めていく。						
達成目標および到達目標	【達成目標】グローバル問題を題材にしながら、問題意識を高め、研究課題の調査・まとめ・発表の共同研究を行う。 【到達目標】①テキストに基づき、グローバル問題を調べ、発表し、質疑応答やディスカッションを通して、クラスで問題を考察する力を養う。 ②英語文献を読み、英語のニュースを聴く力をつけるとともに、意見を話したり、書いたりする発信力につなげる。 ③共同研究を通し、資料のリサーチ方法や文書のまとめ方、発表方法を学ぶ。						
評価方法および評価基準	【評価方法】 討論へ参画（30%）、英文講読（25%）、研究発表（30%）［2回］、期末レポート（15%） 【評価基準】 ＊討論への参画：研究発表に対し、課題を論理的に批判的に討議できている。各回にコメントシートに記入。 ＊英語文献の講読：英語文献の内容を的確に把握し、問題意識をもつ。 ＊研究発表：テキスト内容を理解し、文献調査や、レジメの作成などが的確である。パワーポイントを使用し英語で研究の要約説明ができる。 ＊期末レポートは授業で扱ったテーマと関連する興味ある題材をえらびグローバルな社会問題について研究し、関連する文献資料を1冊以上読んで、小論文形式で2,000字前後にまとめる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	グローバル・リテラシーと グローバル問題、サステナビリティとは	講義・ グループ決め	教科書導入部を読む
2	地球温暖化： 原因と結果、問題解決のために	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.2 地球温暖化 発表準備
3	水の問題―飲料水の確保： 水争奪戦争、水資源	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.3 飲料水の確保 発表準備
4	貧困と飢餓： 貧困問題は人が生み出すもの？	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.4 貧困と飢餓 発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
5	グローバリゼーションと疫病： 鳥インフルエンザ、エボラウィルス	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.5 病との戦い 発表準備
6	教育とジェンダー： 開発教育、女性のエンパワーメント	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.1 教育とジェンダー 発表準備
7	グローバリゼーションとテロリズム	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.6 テロリズム 発表準備
8	平和と紛争の問題（1） 核兵器	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.8 核兵器 発表準備
9	平和と紛争の問題（2） ―なぜ大量虐殺は起こったのか―	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.9 カンボジア大量虐殺 発表準備
10	平和と紛争の問題（3） ―難民問題とは―	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.11 難民 発表準備
11	平和と紛争の問題（4） ―平和のために非暴力で戦った人々―①	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.12 マンデラ 発表準備
12	平和と紛争の問題（5） ―平和のために非暴力で戦った人々―②	発表、質疑応答、 ディスカッション	Ut.13 アウン・サン・スー・チー 発表準備
13	まとめ	振り返りシート	これまでの内容の Review
14	2 年生のゼミ論発表への参加	記録、質疑応答	質問の準備
15	2 年生のゼミ論発表への参加	記録、質疑応答	質問の準備 ＊期末課題の提出

テキスト	『Global Issues Towards Peace – DVD で学ぶ共存社会―グローバル時代を考える』（南雲堂） 他ハンドアウト
参考書	『第 4 版国際学のすすめ―グローバル時代を生きる人のために』（東海大学出版会 2013 年）
履修条件、前提科目	国際関係論、文化人類学などの科目を並行して履修することをすすめる。
その他特記事項	ゼミ生にはグローバルな動きに関心を寄せ、問題意識を高めることを望む。 ゼミの討議への積極的な参加。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	岩崎　明子
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4213	オフィスアワー	火4限、木2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	グローバリゼーション、持続可能な世界						
授業の概要	前半では、『第 4 版国際学のすすめ―グローバル時代を生きる人のために』の輪読を通してグローバル時代の問題について考える。後半では英語の文献から「持続可能な世界」をつくるために人類はどのような課題を抱えているのかを大まかにつかんでいく。その作業には、文献（日本語、英語）の要点を的確につかみ、問題の要点を解りやすく整理したレジメを作成し、発表するという技術を学んでいく。これを通して、秋学期のゼミ論文のテーマを絞り準備する。						
達成目標および到達目標	【達成目標】グローバリゼーションの概念の様々な次元の様相を掴み、その問題点を把握する。さらに、「持続可能な世界」を可能とするために、世界の抱える課題と解決へのチャレンジを知って自分の生き方を考えていく。 【到達目標】文献を読み、まとめることで、テーマに関する教養をつけるだけでなく、問題点の指摘や考察・分析の結果、自分の意見を的確に述べられるようになる。 アカデミックな様式で、レジメやレポートの作成を行えるようになる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】発表 1（20%）、発表 2（20%）、討論参加・提出物（15%）、課題レポート（25%）、新聞記事ノート（20%） 【評価基準】 文献を読み、まとめることで、テーマに関する教養をつけるだけでなく、問題点の指摘や考察・分析の結果、自分の意見を的確に述べられる。 アカデミックな様式で、レジメやレポートの作成を行える。発表に関しては、教材を熟読し、内容をまとめ、事前打ち合わせをして、レジメを作成し、本番に臨む。質疑応答に備え、発表後の討論のためのテーマ課題も提案する用意がある。 課題レポートは、秋の自分の研究課題につながるような内容を選ぶ。書式と字数は指定された通り、アカデミックな様式にのっとり提出する。 記事ノート：自分の関心のある記事をスクラップし、まとめと意見を添付したノートを中間期と学期最後に提出する。これは自分の論文の準備となる。（自主的課題）						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	目的と概要 / ゼミ論のための自己研究テーマの探し方、決め方、計画	講義、自己紹介	自分の興味関心についてまとめてくる
2	人間の安全保障－わたしたちと国際社会をつなぐ視点	学生の発表、討議 コメントシート	教科書第1部1章を読んで質問票を用意
3	平和構築－戦争で壊された社会を再生するために	学生の発表、討議 コメント	2章、同上
4	国家と安全保障－軍事力の役割をどう考えるか	学生の発表、討議 コメント	3章、同上
5	国際開発と援助－経済成長から人々のための社会づくり	学生の発表、討議 コメント	4章、同上
6	国際政治経済の世界－経済権力と利益の視点	学生の発表、討議 コメント	5章、同上
7	メディアリテラシー－国際社会の情報を読み解く	学生の発表、討議 コメント	6章、同上
8	異文化コミュニケーション－多文化間の対話	学生の発表、討論 コメント	7章、同上

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	グローバリゼーションとサステナビリティまとめと考察 / Key concept	講義、DVD、討議	グローバリゼーションについてのレポート
10	It's All Connected Population Trends, Carrying Capacity, Ecological Footprint	学生の発表、討論 コメント	Text pp.21-30
11	It's All Connected Food and Water・Energy	学生の発表、討論 コメント	Text pp.33-46
12	It's All Connected Biodiversity and Ocean Planet	学生の発表、討論 コメント	Text pp.49-65
13	It's All Connected Health, Education, and Human Rights	学生の発表、討論 コメント	Text pp.78-92
14	It's All Connected Economy / Poverty / Conflict	学生の発表、討論 コメント	Text pp.105-122
15	まとめ　夏のゼミ合宿の内容と準備について	講義、グループワーク	課題レポートの提出 記事ノートの提出

テキスト	『第 4 版国際学のすすめ―グローバル時代を生きる人のために』（東海大学出版会　2013） 抜粋ハンドアウト『It's All Connected―A Comprehensive Guide to Global Issues and Sustainable Solutions』（2006）
参考書	マンフレッド・B・スティーガー『一冊でわかるグローバリゼーション』（岩波書店　2007）
その他 特記事項	2 年生は、就職や編入試験で大変忙しい日々を送るが、努力して教養を積み、問題意識をもちそれを討議する方法を身に付けることは、将来の進路に必ず役立つと信じる。

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4213	オフィスアワー	火4限、木2限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	ゼミ論文の作成法、研究課題の設定、中間発表、公開発表						
授業の概要	今までに学んだ知識を生かし、自分の関心テーマに従って、ゼミナール論文を作成する。毎回の発表では、発表者が自分の研究成果を発表し、参加者全員で課題を討論する。SJ祭およびゼミ終了日にはゼミ論文についての発表をする。						
達成目標および到達目標	【達成目標】グローバルな世界の問題の中から、選んだ自分のテーマをあらゆる角度から研究し、まとめ、発表し、論文作成をすることが目的である。 【到達目標】①先行研究の検討、研究課題の設定、調査、討論をとおして、論文作成に必要な知識と技術をつける。 ②発表と討論の機会を通して、内容を論理的、批判的に考察する力をつける。 ③論文のテーマにそって論文を完成させる。						
評価方法および評価基準	【評価方法】討論への参加（30%）、研究発表（30%）、ゼミ論文（40%） 【評価基準】 討論参加：発表に対する意見を、論理的、批判的に述べることができている。 研究発表：先行研究、テーマ設定、研究方法、内容のまとめが適切にできている。 ゼミ論文：中間発表で述べた課題の目的と内容の展開が適切であり、独自性がある。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	ゼミ論文構想の発表と討論（1）	学生発表、討論	発表の準備
2	ゼミ論文構想の発表と討論（2）	学生発表、討論	発表の準備
3	ゼミ論文構想の発表と討論（3）	学生発表、討論	発表の準備
4	ゼミ論中間発表と討論（1）	学生発表、討論	発表の準備
5	ゼミ論中間発表と討論（2）	学生発表、討論	発表の準備
6	ゼミ論中間発表と討論（3）	学生発表、討論	発表の準備
7	SJ祭ゼミ論中間発表会	学生発表、質疑応答	レジメと発表の準備
8	ゼミ論中間発表と討論（4）	学生発表、討論	発表の準備
9	ゼミ論中間発表と討論（5）	学生発表、討論	発表の準備
10	ゼミ論中間発表と討論（6）	学生発表、討論	発表の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	ゼミ論文発表と討議	学生発表、討論	発表の準備
12	ゼミ論文発表と討議	学生発表、討論	発表の準備
13	ゼミ論文発表と討議	学生発表、討論	発表の準備
14	ゼミ論文発表会（1.2 年合同）	発表と質疑応答	発表の準備
15	ゼミ論文発表会（1.2 年合同）	発表と質疑応答	発表の準備

テキスト	論文作成に関するプリントを配布
参考書	クラスで論文の書き方の本を指定します。
その他 特記事項	ゼミ生は、発表の仕方とともに、質疑応答に良く参加できるように練習してほしい。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール					担当教員	V. Thomas
開講期	秋	開講時限	水４限	研究室	4211	オフィスアワー	月２・３限、火３・４限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	
キーワード	Peace, positive & negative peace, structural violence, causes of war, peace movements						
授業の概要	This pre-seminar introduces basic concepts and theories in peace studies. Through lectures, presentations and discussions, this course facilitates students to reflect not only on the theoretical aspects of war, conflicts and peacebuilding but also the social and political issues that affect their lives today. Besides the lectures in English, another textbook in Japanese is used for students' reading and presentations which will enable them to understand the key concepts and issues well. Students'active participation in classroom activities such as discussion, group work, close reading, and presentation are required. Through these activities, students will develop critical thinking, ability to express their thoughts and opinions clearly, and respect others' opinions.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: Through this course, students will acquire introductory knowledge of the basic concepts and theories of peace studies. They will also learn the skills to participate in a discussion, to make powerpoint presentations, write short essays and take notes in English. *Learning objectives*: By the end of this course, students should be able to ・understand the key concepts, history and the basic theories in peace studies ・think critically about the social and political issues that affect them and the international community ・participate in a discussion creativelyon topics related to peace studies ・write a write a small research paper related to peace based on personal research						
評価方法および評価基準	*Categories*: Class participation (30%), Presentation (20%), Report (30%), Summary (20%) *Criteria*: To be distributed at the first class.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Introduction to the course, teaching materials	Lecture, discussion, Q&A	Purchase the text book
2	The meaning of peace: historical views of peace (1)	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
3	The meaning of peace: historical views of peace (2)	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
4	The relevance of peace studies: origin of peace studies, purpose of peace studies	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
5	Positive versus negative peace: social justice, structural violence	Lecture, discussion, Q&A, S. presentation	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
6	Causes of war: (personal level) Instinct, sociobiology, human psychology	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
7	Causes of war: (the group level) Early history of war, functions of primitive war	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
8	Causes of war: (nationalism) History of nationalist wars, types of nationalist wars etc	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
9	Causes of war: (The State level) The state system, arms race	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
10	The peace-war continuum: motivation for war, justifications for war	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
11	Ideologies and wars: democracies and war, capitalism and war, role of poverty	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
12	Classification of modern wars: revolutionary civil wars, intervientionist wars etc	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
13	Nuclear weapons and war: the nature and effects of nuclear weapons, nuclear policy	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
14	Decision-making: the role of leaders, crisis decision making	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, do the exercises
15	Peace movements: popular attitude toward peace and war	Lecture, reading, Discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, submit report

テキスト	岡本　三夫、横山　正樹編著『新・平和学の現在（Peace Studies in the Making: A New Edition）』（法律文化社　2009 年）
参考書	Materials adapted from the following book will be used for lectures. David P. Barash. *Introduction to Peace Studies* (1991) (Wadsworth Publishing Company)

科目名	SES200:　ゼミナール I					担当教員	V. Thomas
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4211	オフィスアワー	水2・5限、木3・4限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	Peace, nonviolence, conflict resolution, reconciliation, environmental protection, peace building						
授業の概要	This course introduces fifteen great peacemakers: their life, message and philosophy. This course focuses on the following five areas: nonviolence, living peace, honoring diversity, valuing all life, and caring for the planet. Through this course students will learn how different people brought about peace to war-stricken states, resolved age-long conflicts, peace through sustainable development and environmental protection.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: This course aims to introduce living examples of successful attempts of peace-building processes in various parts of the world by different individuals. Students will also learn how various academic disciplines such as politics, economics, law, international relationship, environmental studies, religion etc are realated to peace studies. Students will be trained to write short research papers as well. *Learning objectives*: By the end of this course, students will ・know about various ways of bringing peace to different kinds of situations ・be able to do short research on topics related to peace by reading books etc. ・be able to make a presentation of the result of their research using Powerpoint ・be able to participate in a discussion creatively						
評価方法および評価基準	*Categories*: Class participation (30%), Presentation (20%), Report (30%), Summary (20%) *Criteria*: To be distributed at the first class.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Introduction: class procedures and materials	Lecture, discussiong, Q&A	Bring the textbook
2	Nonviolence: Nonviolent resistence (Mahatma Gandhi)	Lecture, reading, discussion, Q&A	Read text, do exercises, check new vocabulary
3	Nonviolence: Daring to dream (Martin Luther King, Jr.)	Lecture, reading, discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
4	Nonviolence: Living deliberately (Henry David Thoreau)	Lecture, reading, Discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
5	Living peace: Living peace (Mother Theresa)	Lecture, reading, Discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
6	Living peace: Being peace (Thich Nhat Hanh)	Lecture, reading, Discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
7	Living peace: “Us” refers to all of humankind (Oscar Arias)	Lecture, reading, Discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
8	Honoring diversity: Interfaith Harmony (Bruno Hussar)	Lecture, reading, Discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
9	Honoring diversity: Partnership, not domination (Riane Eisler)	Lecture, reading, Discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
10	Honoring diversity: Universal compassion (The Dalai Lama)	Lecture, reading, discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
11	Valuing all life: The creed of kinship (Henry Salt)	Lecture, reading, discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
12	Valuing all life: A voice for the voiceless (Astrid Lindgren)	Lecture, reading, discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
13	Valuing all life: Realizing our humanity (Jane Goodall)	Lecture, reading, discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
14	Caring for the planet: The balance of nature (Rachel Carson)	Lecture, reading, discussion, short test	Read text, check new vocabulary, write summary
15	Caring for the planet: Redefining progress (David Suzuki)	Lecture, reading, discussion, short test	Read text, write summary, submit report

テキスト	Ken Beller, Heather Chase. *Great Peacemakers: True Stories from Around the World* (2008) (LTS Press)
参考書	David P. Barash. *Introduction to Peace Studies* (1991) (Wadsworth Publishing Company)

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	V. Thomas
開講期	秋	開講時限	水5限	研究室	4211	オフィスアワー	月2・3限、火3・4限
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	Peace, negative & positive peace, diplomacy, negotiation, balance of power, deterrence						
授業の概要	This course introduces strategies and theories for preventing wars, and building peace. Specific strategies for building “negative peace” such as diplomacy, negotiations, conflict resolution etc., are dealt with in this course. Means for building “positive peace” such as promotion of human rights, environmental protection, economic well-being, promotion of nonviolence etc., will also be introduced.						
達成目標および到達目標	*Course goals*: In this course students will mainly focus on the strategies to prevent wars through building positive and negative peace. Students will also do personal research throughout the semester on a topic related to peace which will be submitted as their graduation thesis. *Learning objectives*: By the end of this course, students will ・have mastered some of the strategies for preventing wars and building peace ・develop skills to do an independent research project ・be able to participate in a discussion constructively ・be able to extract ideas and information by reading books and articles for their project ・acquire the skills necessary to make a presentation using powerpoint effectively						
評価方法および評価基準	*Categories*: Class participation (30%), presentation (20%), thesis (50%) *Criteria*: To be distributed at the first class.						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
1	Introduction: course materials and policies negative peace: history & goals of diplomacy	Lecture, reading discussion, Q&A	Prepare a topic for your thesis
2	Building “Negative Peace”: third-party involvement, negotiating techniques	Lecture, reading discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
3	Peace through strength: balance of power, collective security, deterrence	Lecture, reading discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
4	Disarmament and arms control: history of disarmament, arms control etc	Lecture, reading discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
5	International organizations: The League of Nations, The United Nations etc	Lecture, reading discussion, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
6	International law: enforcement of international law, the Nuremberg principles	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
7	World government: history of plans for world government, prospects of world government	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
8	Ethical and religious perspectives: war and general ethics, religious support for war etc	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
9	Building positive peace: human rights, human rights and the state, human rights and peace	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
10	Building positive peace: ecological wholeness, environmental awareness etc	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学習・復習
11	Building positive peace: tropical rain forests, the problem of energy, sustainable future	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
12	Building positive peace: economic well-being, problem of poverty, third world development	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
13	Building positive peace: nonviolence in practice, nonviolent successes	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
14	Building positive peace: internal and external transformations, personal transformation	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz
15	Conclusion	Lecture, discussion, S. presentation, Q&A	Read the handout, check new vocabulary, prepare for quiz

テキスト	Materials adapted from the following textbook will be used in class. David P. Barash. *Introduction to Peace Studies* (1991) (Wadsworth Publishing Company)
参考書	Charles Webel, Johan Galtung (Edited). *Handbook of Peace and Conflict Studies* (2009) (Routledge)